

自動車運送事業用自動車事故統計年報  
(自動車交通の輸送の安全にかかわる情報)  
(平成21年)



平成23年5月  
国土交通省自動車交通局

## 目次

### 1 事業用自動車の重大事故

用語の定義	1
主な改正経緯	2
1. 重大事故の発生状況	
(1) 発生状況	4
(2) 重大事故発生状況の推移	5
(3) 事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数等の推移	6
2. 事業の種類別の重大事故発生状況	
(1) 発生状況	7
(2) 事業の種類別の重大事故発生状況の推移	8
(3) 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移	11
(4) 事業の種類別の死傷者数	12
(5) 事業の種類別の死傷者数の推移	13
(6) 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり死者数の推移	16
(7) 事故種類別の重大事故発生状況等	17
3. 原因別の重大事故発生状況	
(1) 発生状況	19
(2) 事業の種類別の重大事故発生状況の推移（乗務員に起因するもの）	21
(3) 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移 （乗務員に起因するもの）	22
(4) 事故の種類別の重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）	
(ア) 転覆、転落事故	25
(イ) 踏切事故	27
(ウ) 衝突事故	28
(エ) 車内事故	31
(オ) 死傷事故	33
(カ) 運転者の健康状態	36
(5) 事故発生運転者の状況（運転者に起因するもの）	
(ア) 事故発生運転者の年齢	38
(イ) 事故発生運転者の経験年数	39
(ウ) 事故発生運転者の事故発生以前 1 ヶ月間の休日日数	40
(エ) 事故発生運転者の事故発生までの乗務距離	41
(オ) 事故発生運転者の休日から事故までの勤務日数	42
(カ) 事故発生運転者の休日から事故日までの乗務距離の合計	43
(6) 車両故障に起因する重大事故発生状況	44
4. 火災事故	47
5. 危険物等積載車両の重大事故発生状況	
(1) 危険物等積載車両の重大事故発生状況の推移	48
(2) 積載物品別の重大事故発生状況	49
(3) 事故種類別の重大事故発生状況	49
6. 高速道路等における重大事故発生状況	
(1) 発生状況	50
(2) 高速道路等における事業の種類別の重大事故発生状況	51
(3) 事故種類別の重大事故発生状況	51
(4) 事業の種類別、道路の種類別の死傷者数	53
(5) 乗務員に起因する重大事故発生状況	
(ア) 事業の種類別の重大事故発生状況	55
(イ) 事業の種類別、道路の種類別の重大事故発生状況	56
(ウ) 事故種類別、道路の種類別の重大事故発生状況	59

## 1 事業用自動車の重大事故

### 用語の定義

1. 「重大事故」とは、自動車事故報告規則第2条に規定する事故をいう。

2. 事故種類の定義は次のとおりとする。

「転覆」当該自動車が道路上において路面と35度以上傾斜したとき。

「転落」当該自動車が道路外に転落した場合で、その落差が0.5メートル以上のとき。

「路外逸脱」当該自動車の車輪が道路（車道と歩道の区別のある場合は、車道）外に逸脱した場合で、「転落」以外のとき。

「火災」当該自動車又は積載物品に火災が生じたとき。

「踏切」当該自動車が踏切において、鉄道車両と衝突し、又は接触したとき。

「衝突」当該自動車が鉄道車両、トロリーバス、自動車、原動機付自転車、荷牛馬車、家屋その他の物件に衝突し、又は接触したとき。

「車内」操縦装置又は乗降口の扉を開閉する装置の不適切な操作により、旅客（乗降する際の旅客を含む）が死傷したとき。

「死傷」当該自動車により通行人（自転車に乗って通行している者を含む。）等当該自動車に乗車していない者が死亡又は重傷となったとき。

※死亡及び重傷の定義は次のとおり

「死亡」事故発生後24時間以内に死亡したものを。

「重傷」自動車損害賠償保障法施行令第5条第2号又は第3号に掲げる傷害を受けたものを。

「健康起因」運転者の疾病により、事業用自動車の運転を継続することができなくなったもの。

「危険物等」当該自動車に積載された一定の危険物、火薬類、高圧ガス、核燃料物質、放射性同位元素、毒物、劇物、可燃物が全部若しくは一部が飛散し、又は漏えいしたもの。また、コンテナが落下したもの。

「車両故障」当該自動車の装置の故障により、自動車が運行できなくなったもの。

「その他」自動車事故の発生の防止を図るため国土交通大臣が特に必要と認めて報告を指示したもの。

3. 事業の種類は次のとおりとする。

「乗合」一般乗合旅客自動車運送事業者をいう。

「貸切」一般貸切旅客自動車運送事業者をいう。

「貸切等」一般貸切旅客自動車運送事業者及び特定旅客自動車運送事業者をいう。

「特定」特定旅客自動車運送事業者をいう。

「ハイ・タク」一般乗用旅客自動車運送事業者をいう。

「トラック」貨物自動車運送事業者（貨物軽自動車運送事業者を除く。）及び特定第二種貨物利用運送事業者をいう。

## 主な改正経緯

平成13年5月：報告対象として以下を追加した。

- ①車内事故
- ②健康起因によるもの
- ③危険物等運搬車両による事故
- ④国土交通大臣が特に必要と認めて報告を指示したもの  
報告対象から当該自動車、積載貨物、家屋その他の物件に与えた損害の総額が200万円を超えるものの報告を削除した。

平成17年2月：自動車の装置の故障により運行できなくなったもの（車両故障）に係る報告対象を、「かじ取り装置」「制動装置」「車枠」「車軸」「車輪（タイヤを除く。）」「シャシばねの破損又は脱落」から道路運送車両法第41条各号に掲げる「原動機及び動力伝達装置」「操縦装置」「燃料装置及び電気装置」など全ての装置に拡大した。

平成21年12月：報告対象について以下のとおり追加又は見直しを行った。

- ①10台以上の自動車の衝突又は接触を生じたもの
- ②10人以上の負傷者を生じたもの
- ③自動車に積載されたコンテナが落下したもの
- ④酒気帯び運転、麻薬等運転等を伴うもの
- ⑤救護義務違反があったもの
- ⑥車輪の脱落、被牽引車の分離の故障を生じたもの
- ⑦鉄道施設を損傷し、3時間以上列車の運転を休止させたもの
- ⑧高速自動車国道又は自動車専用道路を、3時間以上通行止めにしたもの

自動車輸送統計における事業の種類別の総走行距離

(単位億km)

事業の種類 年	乗合バス	貸切バス	ハイ・タク	トラック
平成2年	30.38390	15.71311	193.48051	484.58799
平成3年	30.39816	15.79837	197.55179	523.65100
平成4年	30.18431	15.42921	192.99725	543.70781
平成5年	29.92589	15.33674	186.54109	552.01904
平成6年	29.69970	15.49207	182.01987	575.40297
平成7年	29.55635	15.75352	180.18027	603.41396
平成8年	29.35727	15.84471	176.26132	631.34652
平成9年	29.16750	15.83394	171.85136	639.55667
平成10年	29.04569	15.89543	167.73376	632.25010
平成11年	29.00487	16.14264	164.44400	656.41366
平成12年	28.96959	16.28838	164.29964	692.03737
平成13年	29.24444	16.49602	160.91037	693.44313
平成14年	29.51699	16.68243	161.74335	706.52403
平成15年	30.08903	16.74217	160.99999	728.97444
平成16年	30.28566	16.98226	154.04983	716.06634
平成17年	30.15339	17.29257	152.62520	708.28793
平成18年	30.13347	17.08699	151.99604	731.03375
平成19年	30.34001	16.99166	148.54303	742.71278
平成20年	30.46438	16.97060	142.64090	721.47924
平成21年	30.42916	16.77422	138.20623	694.87291

## 1. 重大事故の発生状況

### (1) 発生状況

平成 21 年中に自動車事故報告規則（昭和 26 年運輸省令第 104 号）に基づき報告があった事業用自動車の重大事故の件数及び死傷状況等は、以下のとおり、昨年と比較して死者数は減少しているものの、乗務員に起因する重大事故による重傷者数は増加している。

平成 21 年中の重大事故発生状況 : 4, 790 件（前年より 490 件減少）  
このうち乗務員に起因するもの : 1, 808 件（前年より 116 件減少）

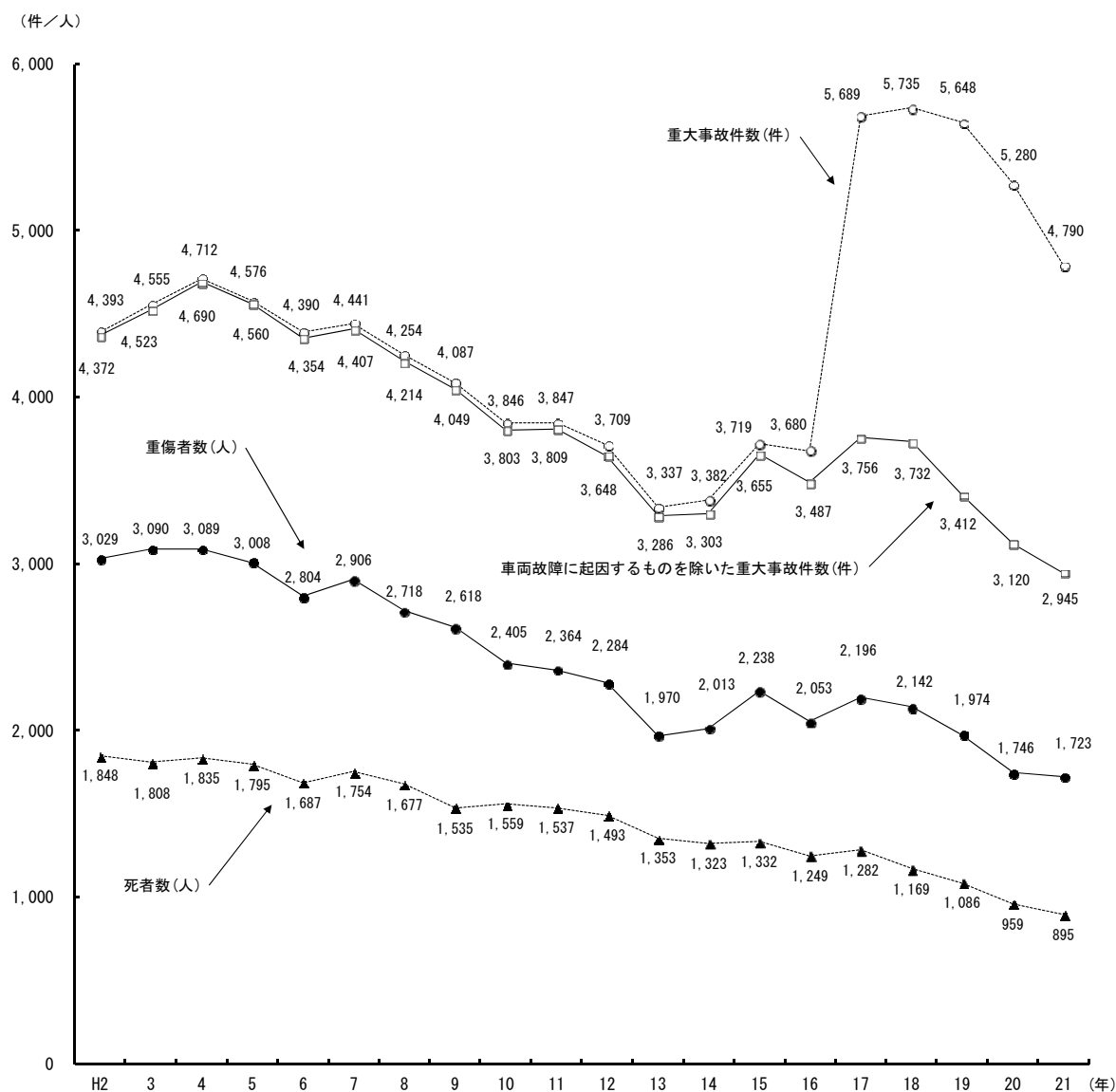
平成 21 年中の重大事故による死者数 : 895 人（前年より 64 人減少）  
このうち乗務員に起因するもの : 432 人（前年より 38 人減少）

平成 21 年中の重大事故による重傷者数 : 1, 723 人（前年より 23 人減少）  
このうち乗務員に起因するもの : 1, 052 人（前年より 17 人増加）

## (2) 重大事故発生状況の推移

事業用自動車の重大事故発生状況等の推移は、図1-1に示すとおり、近年減少傾向となっている。

〔図1-1〕 事業用自動車の重大事故発生状況等の推移

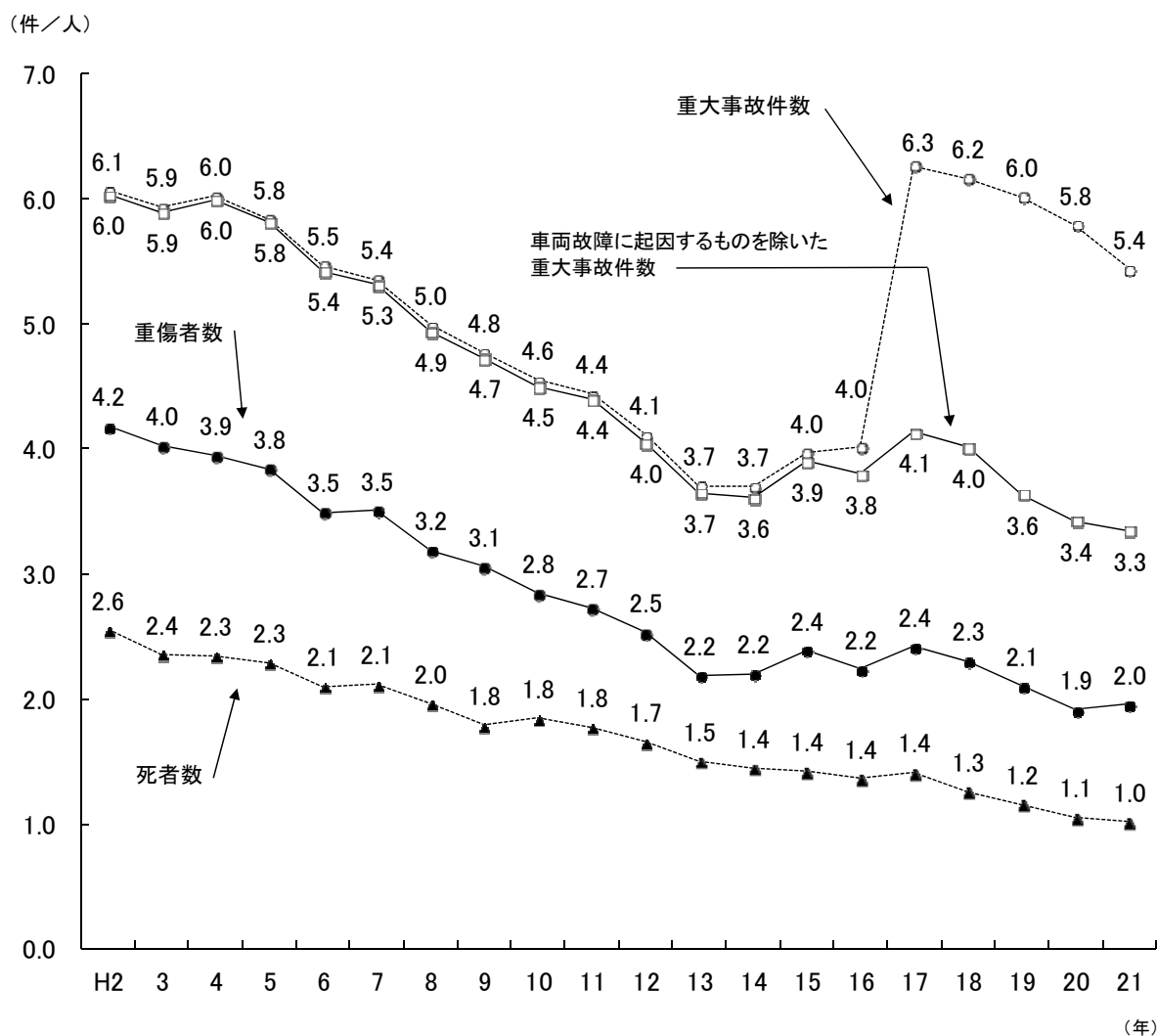


(注) 平成17年2月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

(3) 事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数等の推移

事業用自動車の重大事故発生状況について、事業用自動車 1 億走行キロ当たりで見ると、図 1-2 に示すとおり、昨年と比較して、事故件数と死者数は減少しているものの、重傷者数は増加している。

〔図 1-2〕 事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数等の推移



- (注) 1. 平成 17 年 2 月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの（車両故障）に係る報告対象が拡大されている。
2. 走行キロは、自動車輸送統計から引用している。



## 2. 事業の種類別の重大事故発生状況

### (1) 発生状況

平成 21 年中の事業用自動車の重大事故発生状況等を事業の種類別にみると、表 2-1 に示すとおり、バス、ハイ・タク及びトラックともに、事故件数、死者数は昨年より減少しているが、重傷者数については、ハイ・タク及びトラックで増加している。

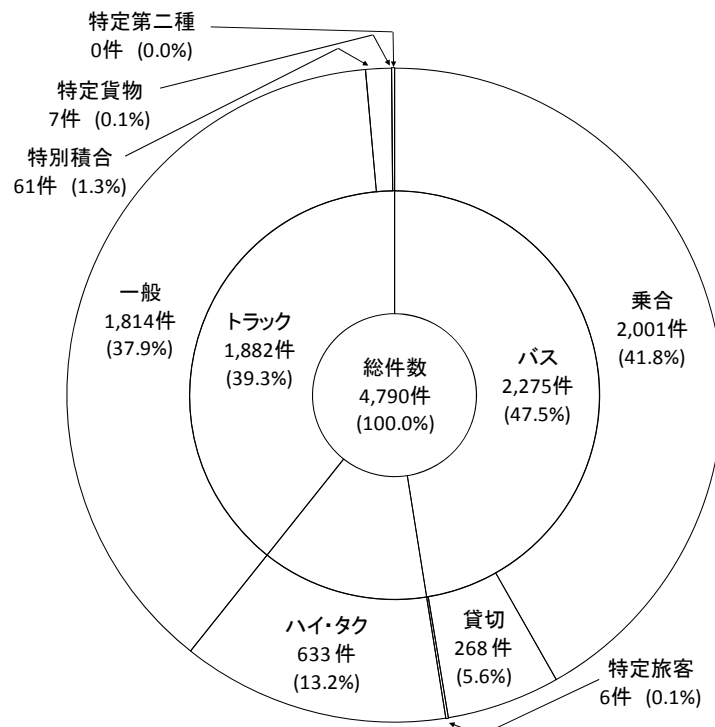
また、事業の種類別の重大事故発生状況は、図 2-1 に、旅客自動車運送事業における事業の種類別の重大事故により死傷した乗客数は、表 2-2 に示すとおりである。

〔表 2-1〕 事業の種類別の重大事故発生状況等

項目	内 訳	バス			ハイ・タク	トラック	合計
		乗合	貸切	特定			
件 数 (件)		2,001 (-259)	268 (-24)	6 (-9)	633 (-31)	1,882 (-167)	4,790 (-490)
乗務員に起因する事故件数 (件)		339 (-11)	33 (-6)	0 (-3)	453 (-17)	983 (-79)	1,808 (-116)
死傷状況	死者数 (人)	30 (-1)	14 (-5)	0 (-1)	79 (-17)	772 (-40)	895 (-64)
	重傷者数 (人)	324 (-4)	44 (-23)	0 (-6)	522 (+2)	833 (+8)	1,723 (-23)
	計 (人)	354 (-5)	58 (-28)	0 (-7)	601 (-15)	1,605 (-32)	2,618 (-87)

(注) ( ) 内の数値は、対前年増減数

〔図 2-1〕 事業の種類別の重大事故発生状況



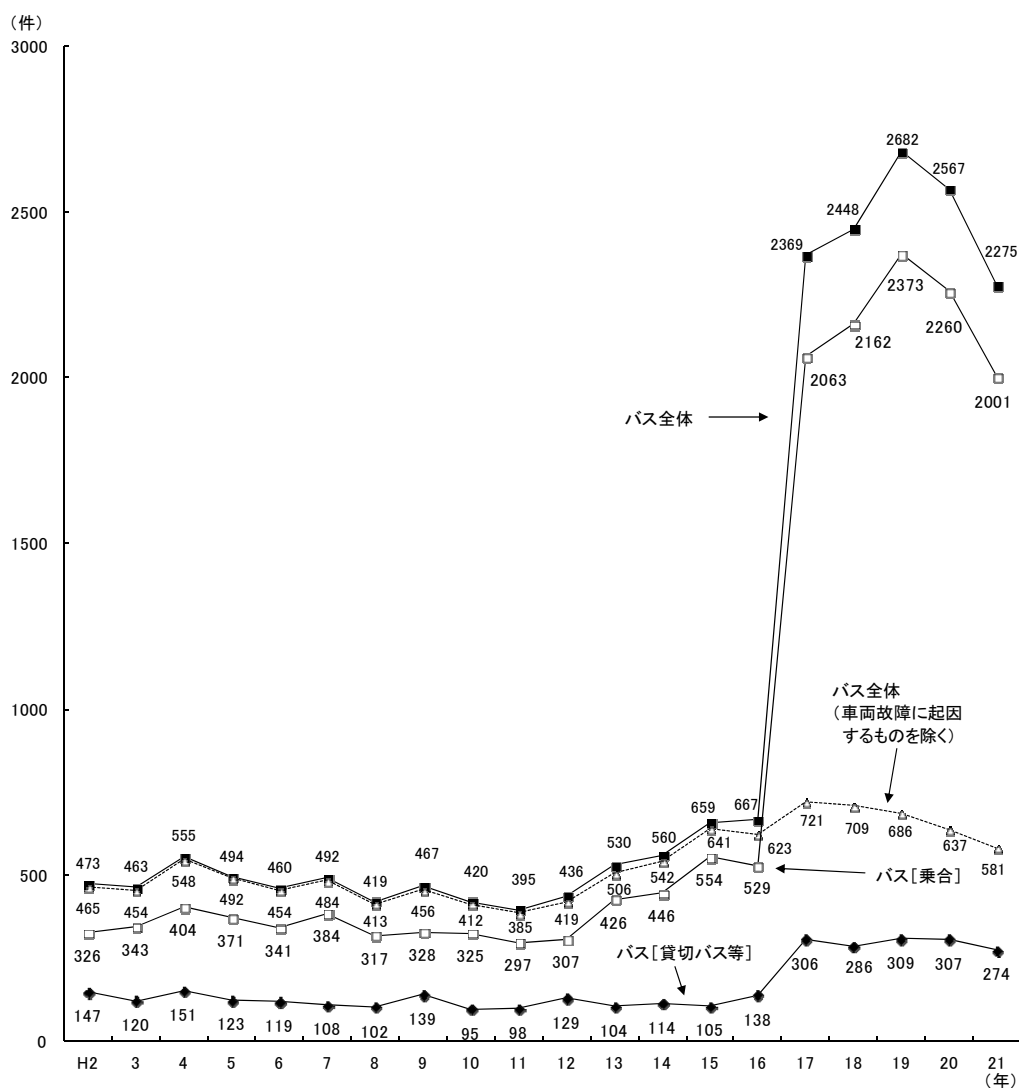
〔表2-2〕 旅客自動車運送事業における事業の種類別の重大事故により死傷した乗客数

項目	内 訳	バス			ハイ・タク	合計
		乗合	貸切	特定		
死傷状況	死者数(人)	0	0	0	2	2
	重傷者数(人)	137	6	0	50	193
	計(人)	137	6	0	52	195

(2) 事業の種類別の重大事故発生状況の推移

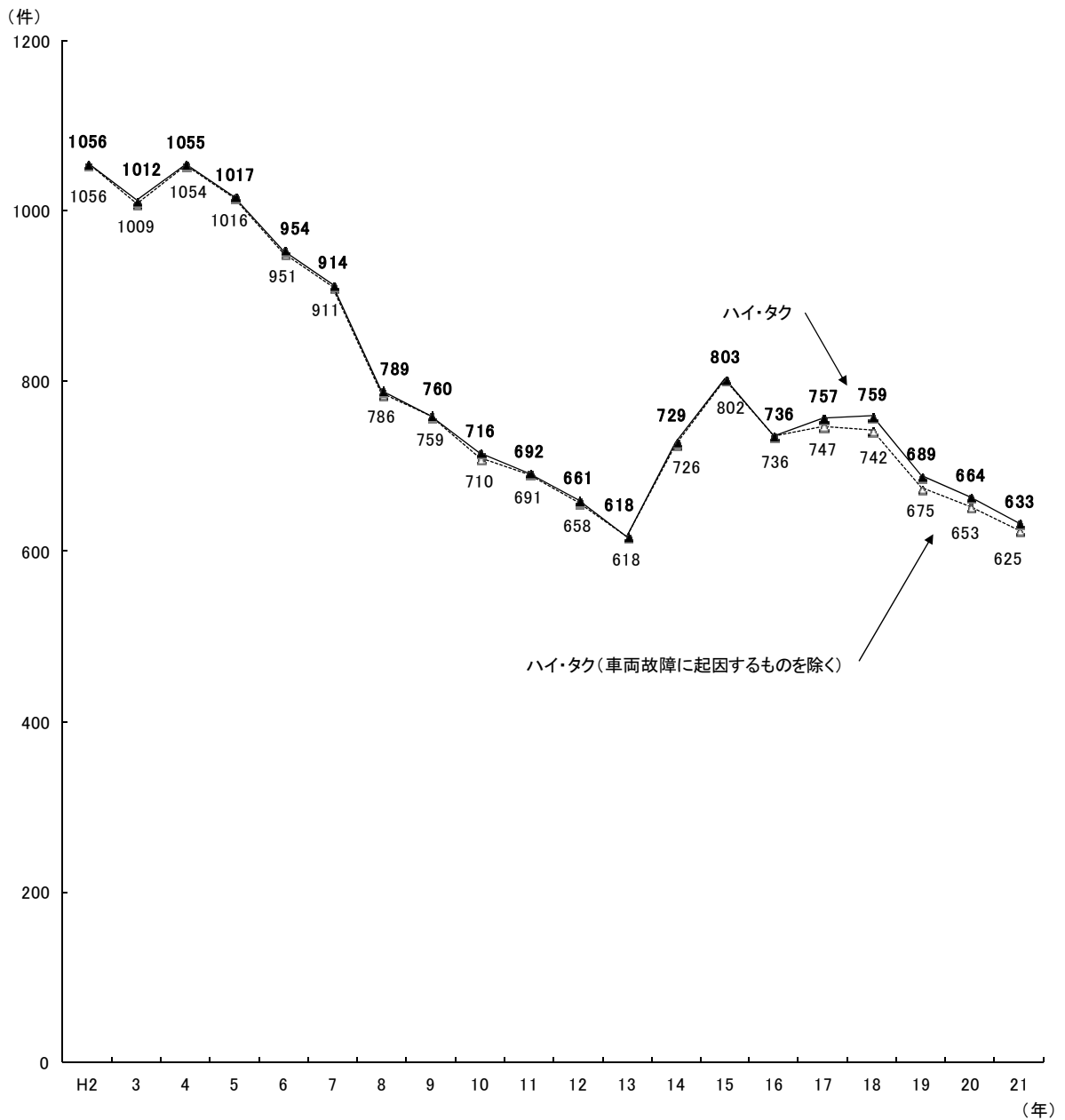
事業の種類別の重大事故発生状況の推移は、図2-2-1から図2-2-3に示すとおり、昨年に引き続き全ての種類で減少している。

〔図2-2-1〕 バスの重大事故発生状況の推移



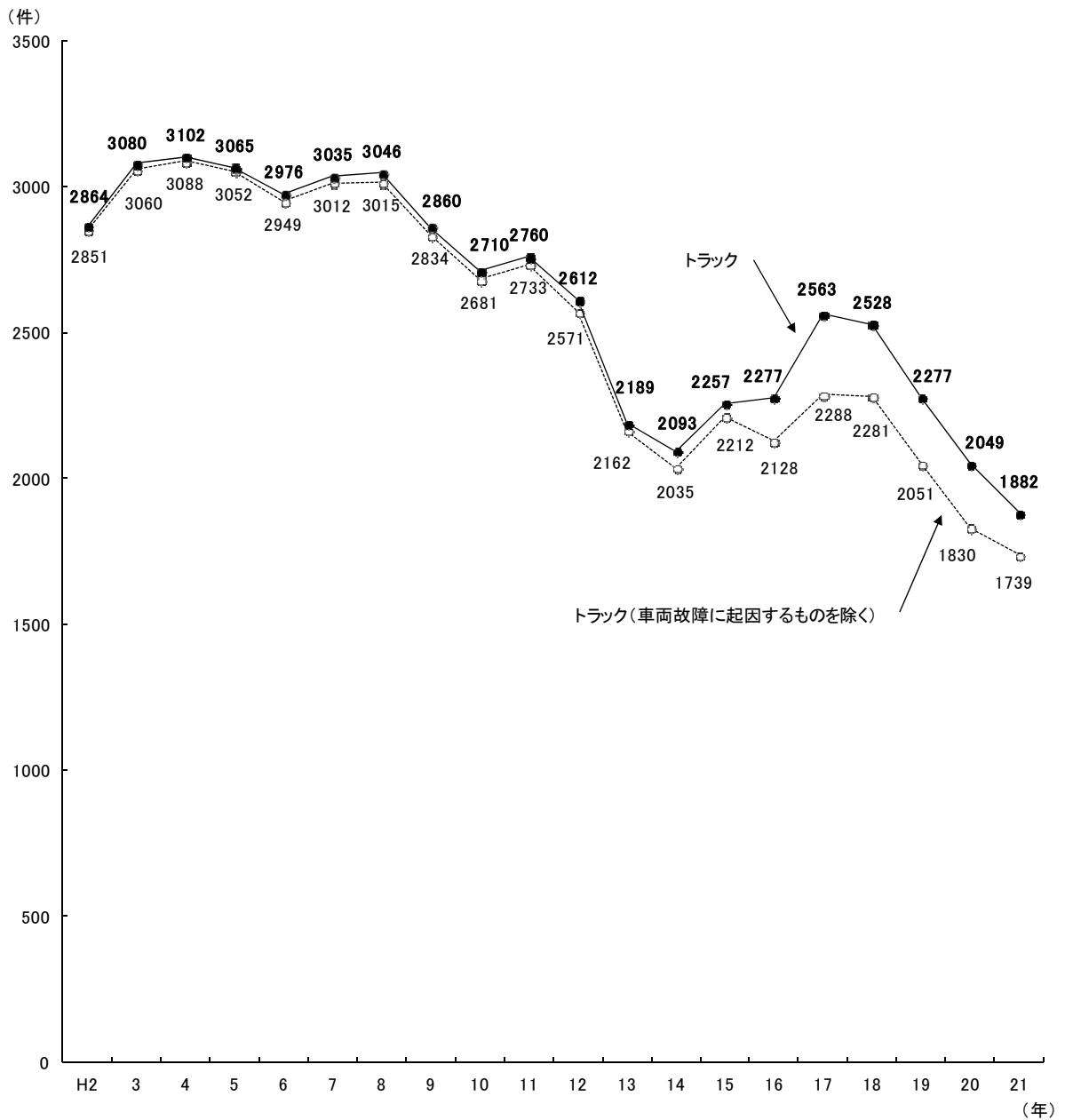
(注) 平成17年2月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

〔図 2-2-2〕 ハイ・タクの重大事故発生状況の推移



(注) 平成 17 年 2 月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

〔図 2-2-3〕 トラックの重大事故発生状況の推移

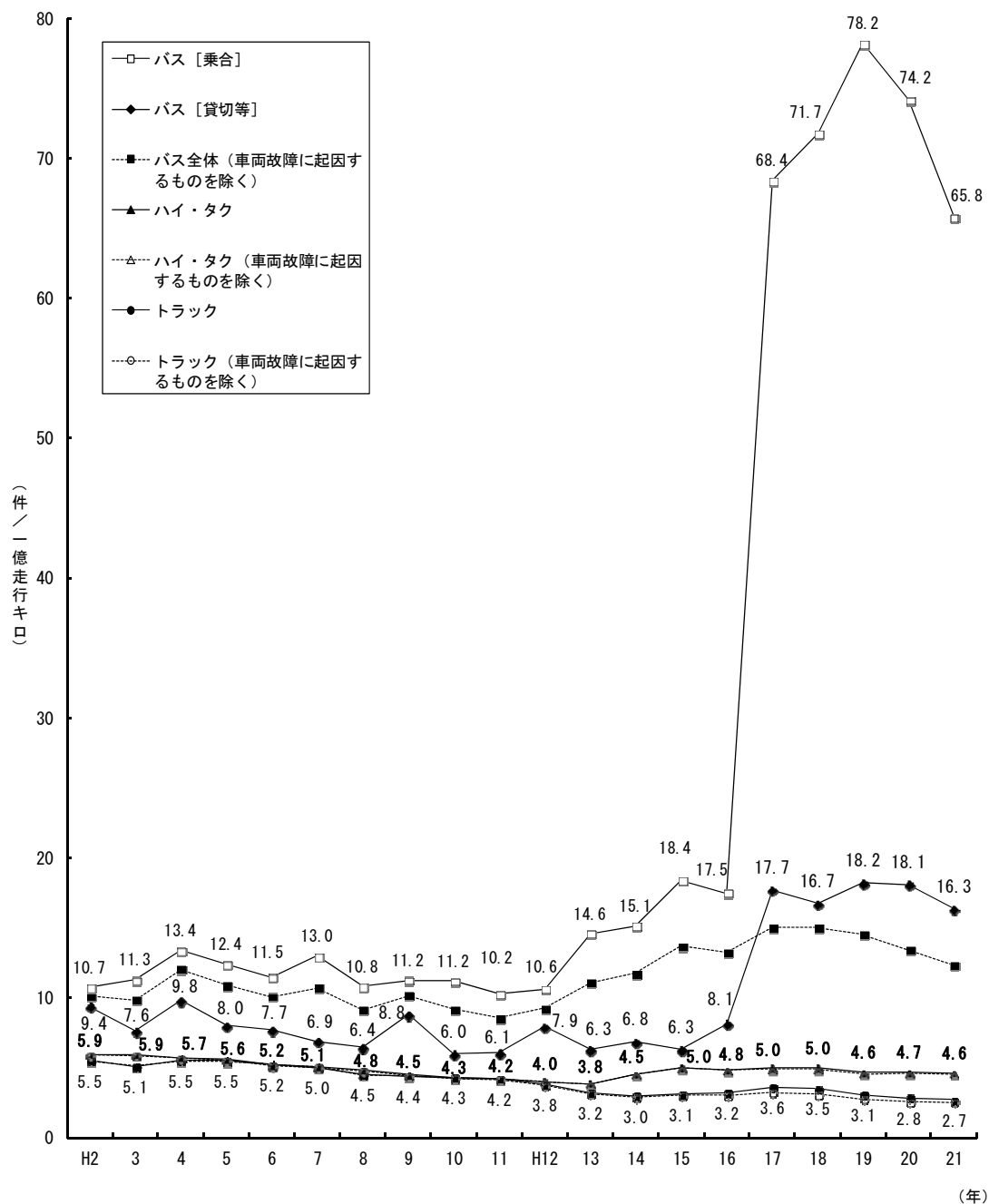


(注) 平成 17 年 2 月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

### (3) 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移

事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たりの重大事故件数の推移は、図 2-3 に示すとおりであり、昨年に引き続き、ほぼ横ばい、又は、減少となっている。

〔図 2-3〕 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移

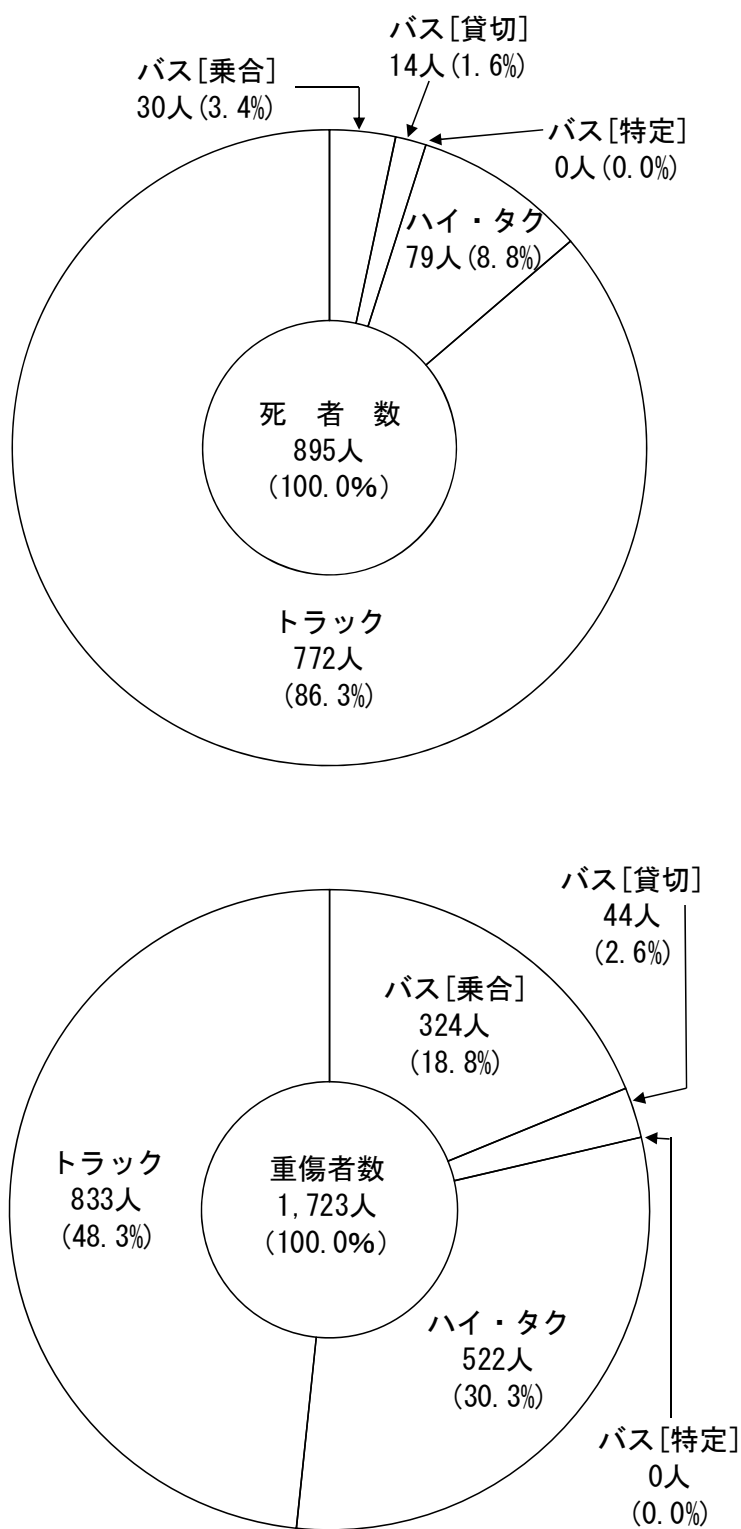


(注) 平成 17 年 2 月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの (車両故障) に係る報告対象が拡大されている。

#### (4) 事業の種類別の死傷者数

平成 21 年中の重大事故に関わる事業の種類別の死者数及び重傷者数の内訳をみると、  
図 2-4 に示すとおりである。

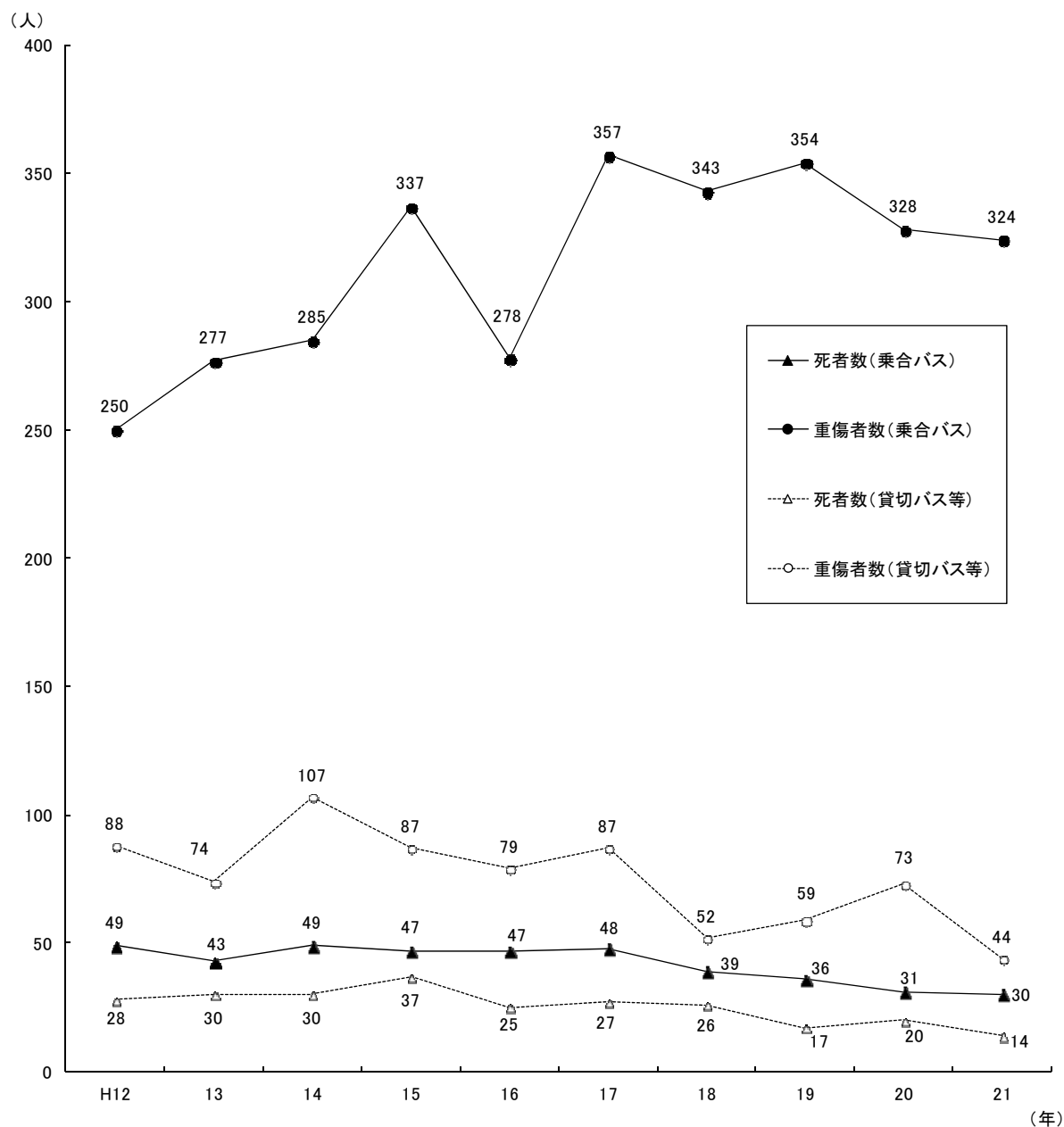
〔図 2-4〕 事業の種類別の死者数及び重傷者数内訳



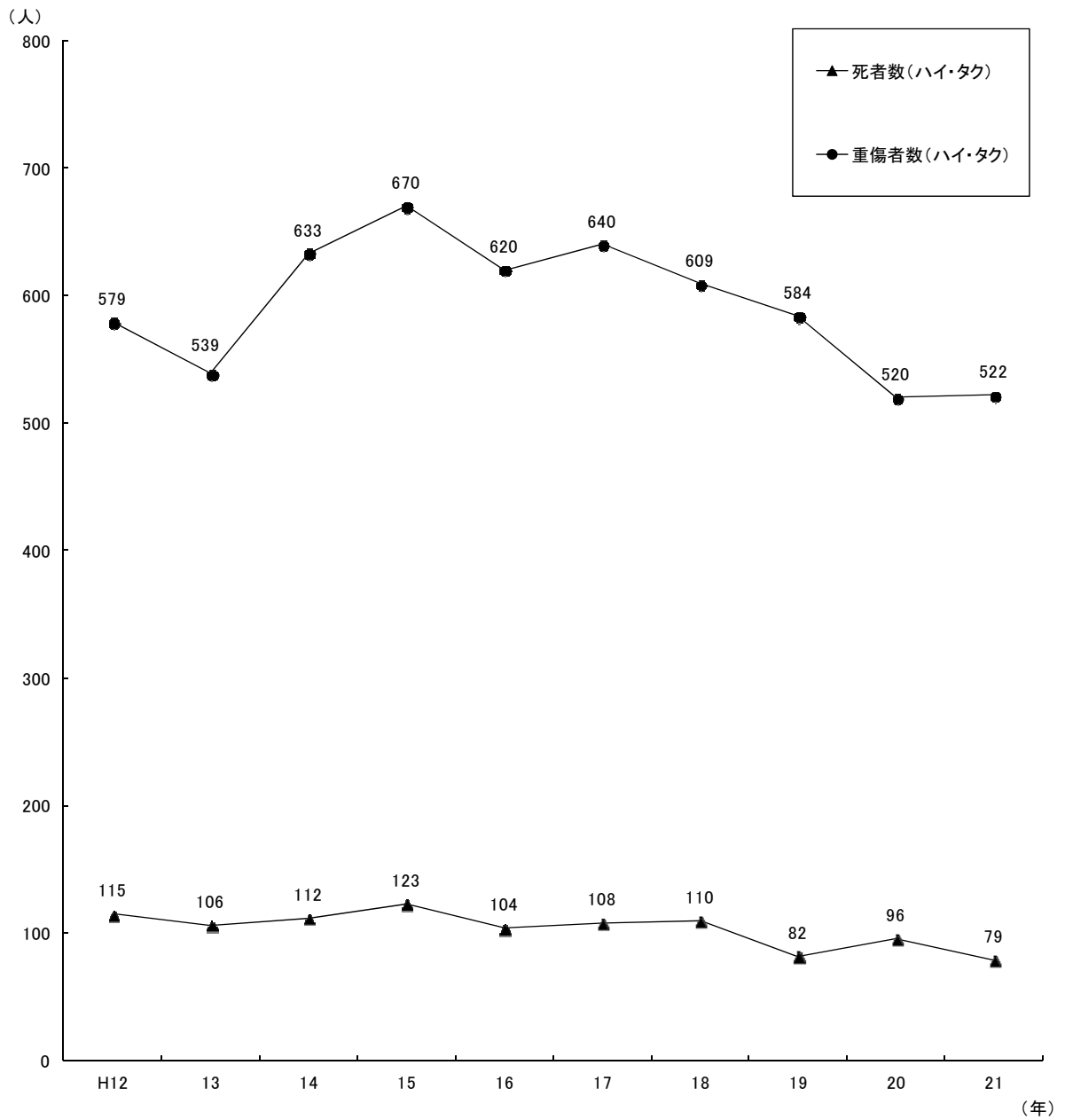
(5) 事業の種類別の死傷者数の推移

事業の種類別の重大事故に関わる死者数及び重傷者数の推移は、図2-5-1から図2-5-3に示すとおりである。

〔図2-5-1〕 バスの死者数及び重傷者数の推移

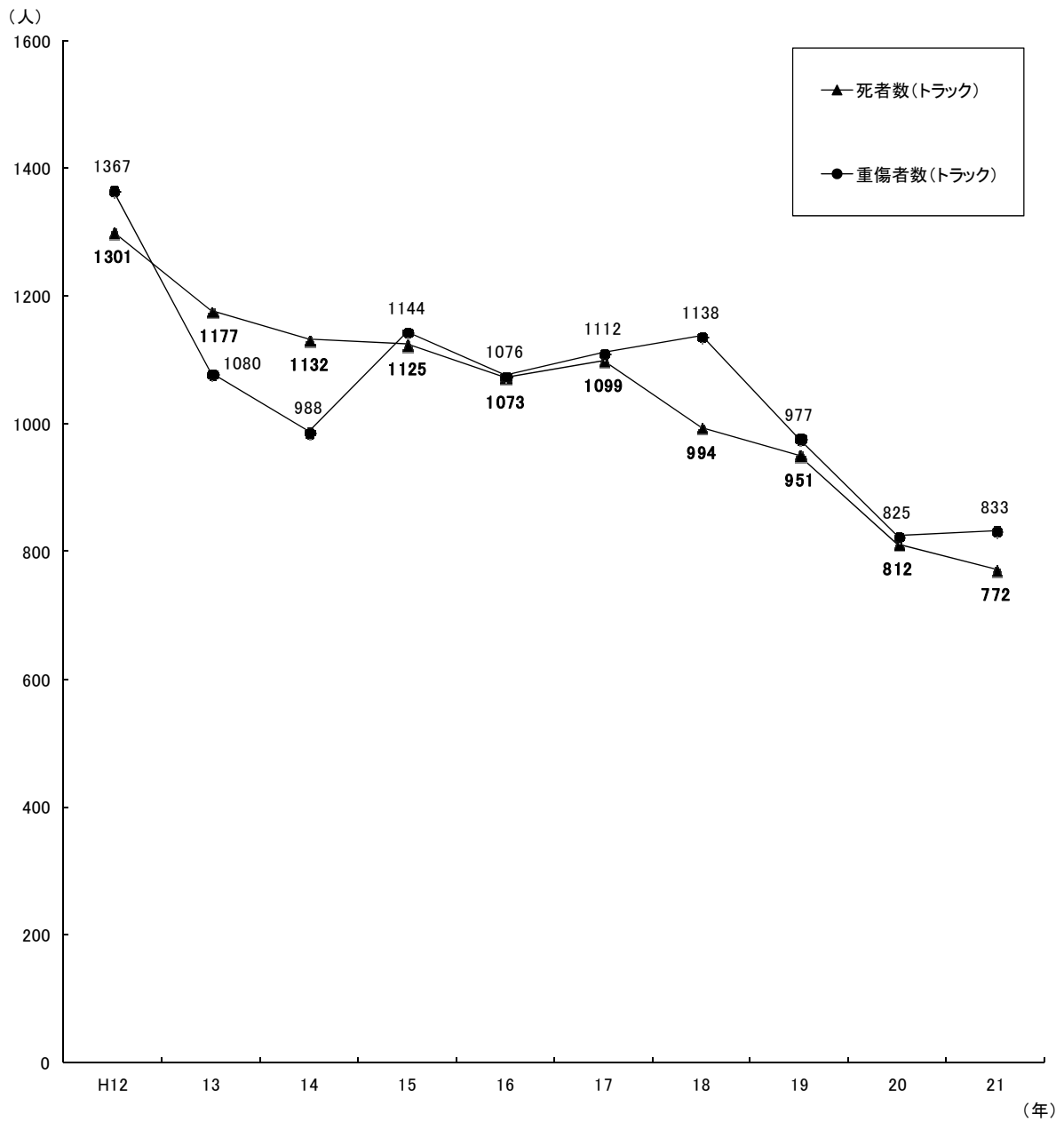


[図 2-5-2] ハイ・タクの死者数及び重傷者数の推移





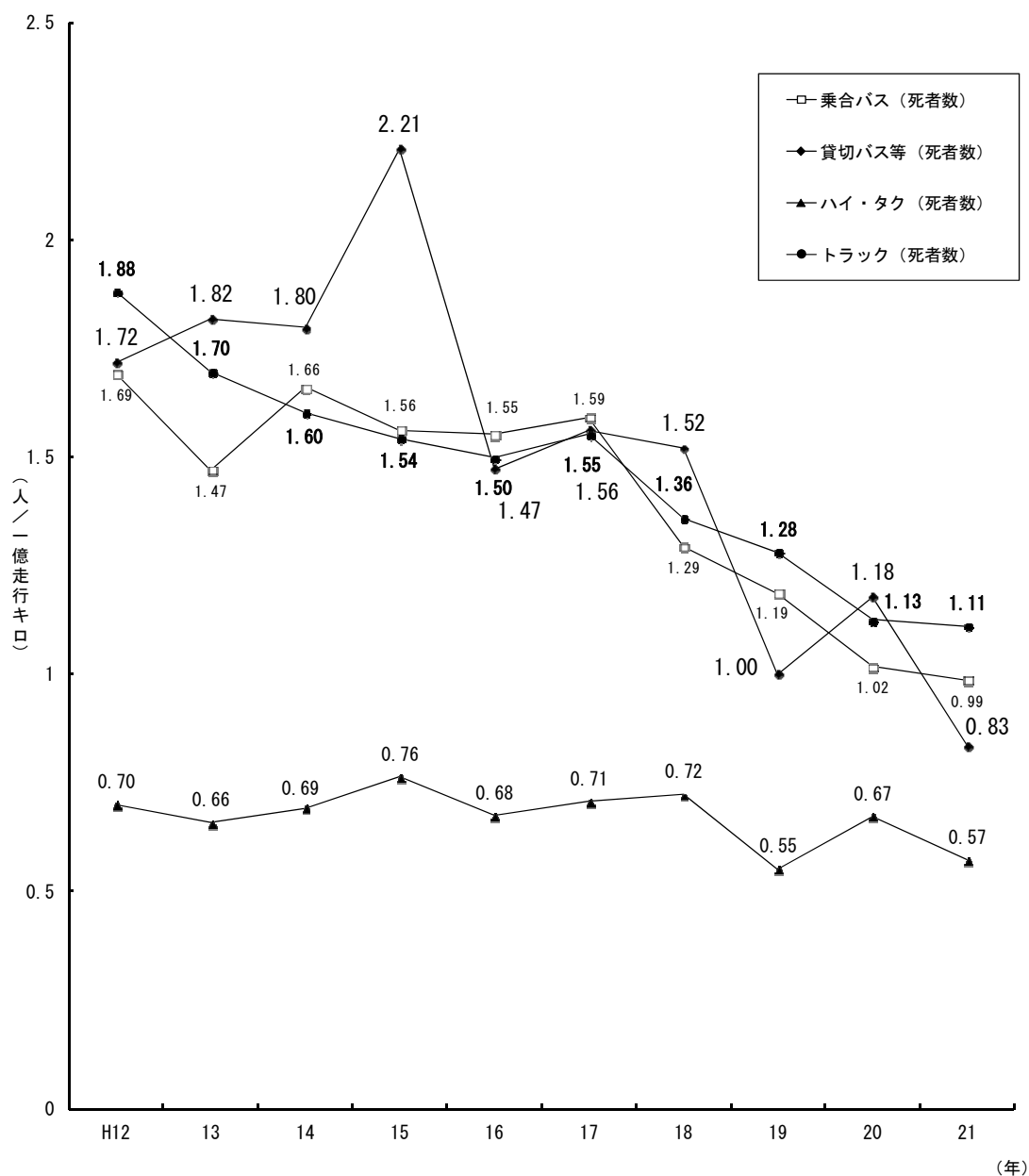
[図 2-5-3] トラックの死者数及び重傷者数の推移



(6) 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり死者数の推移

事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たりの重大事故に関わる死者数の推移は、  
図 2-6 に示すとおり、全ての種類で減少している。

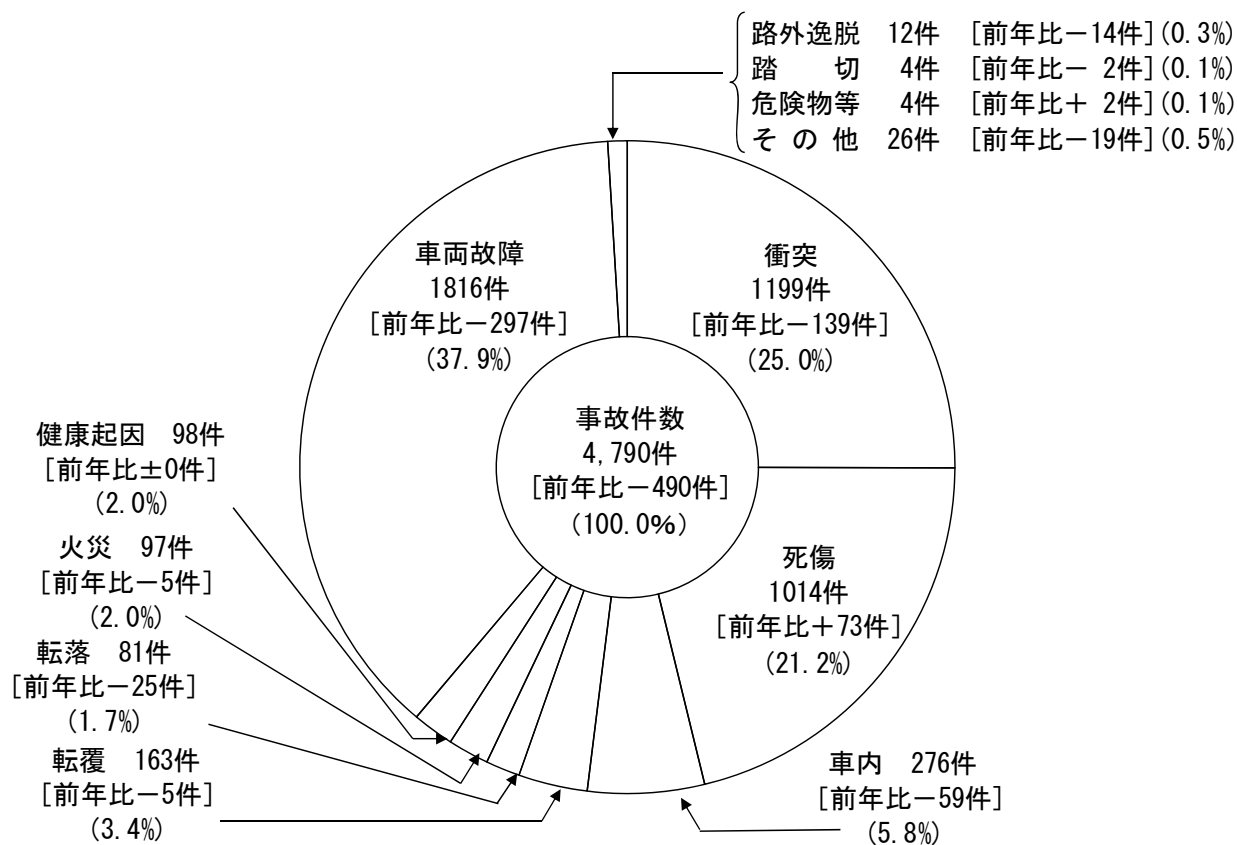
〔図 2-6〕 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり死者数の推移

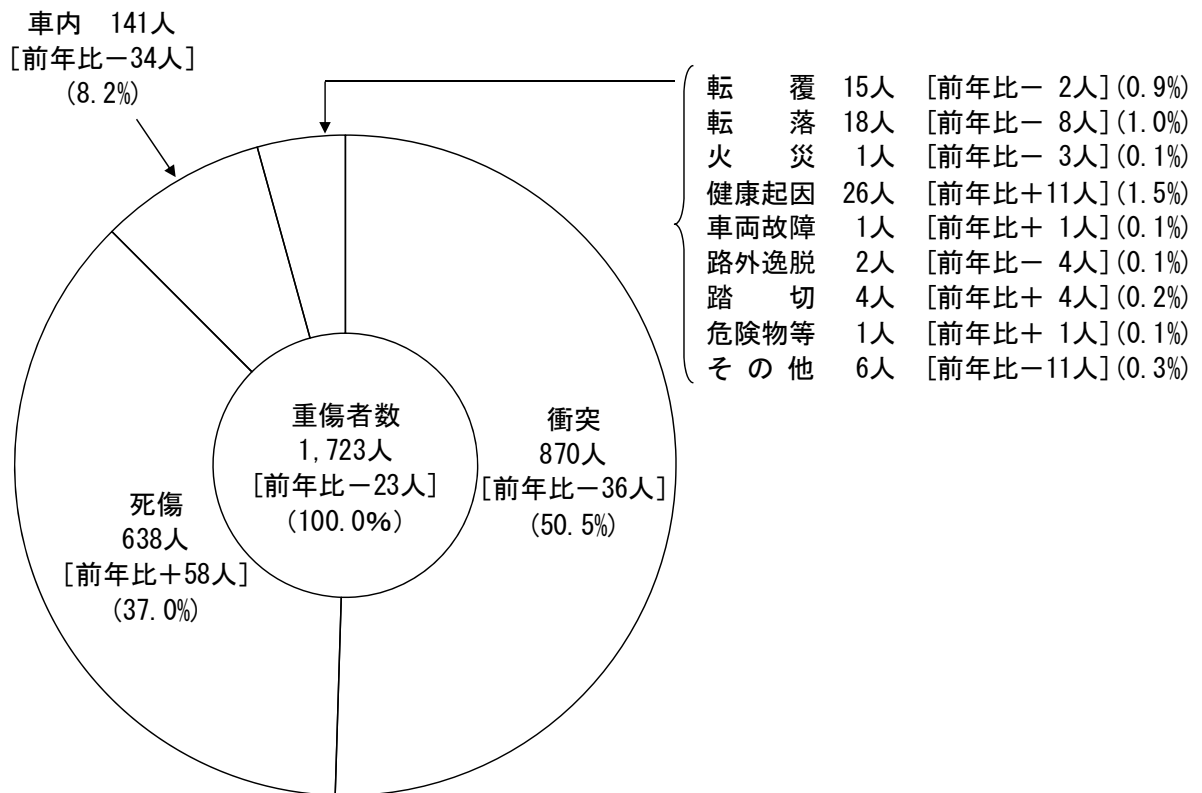
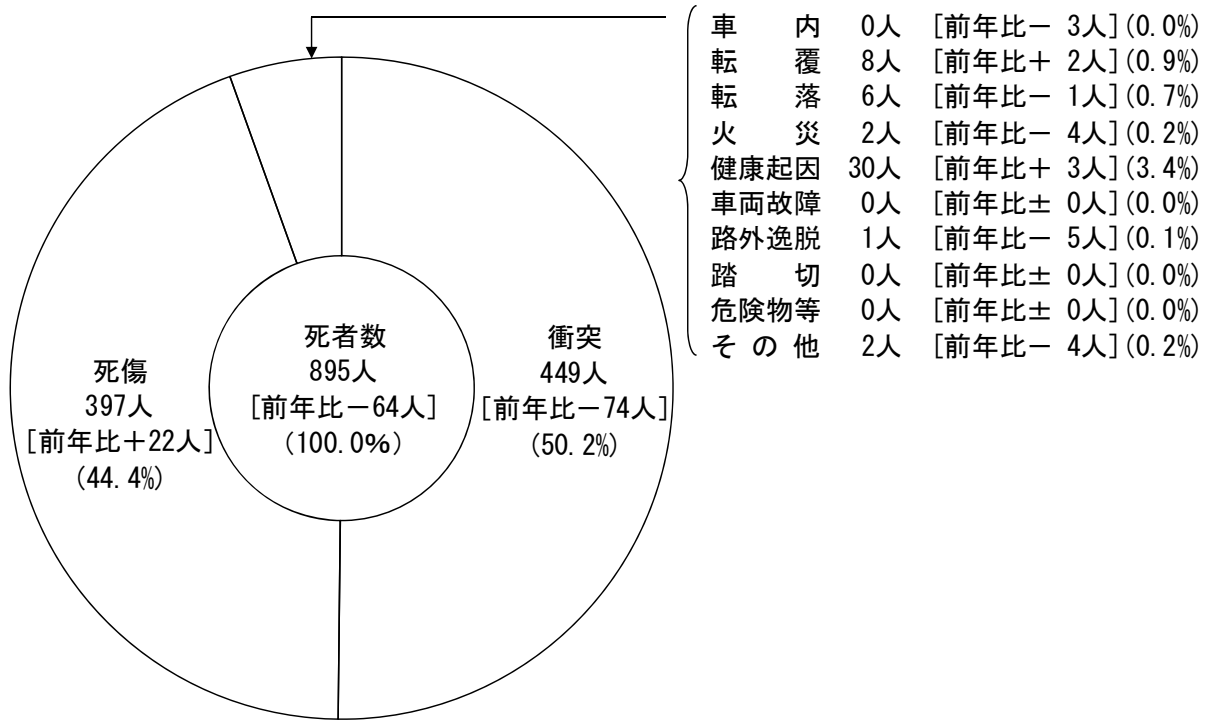


(7) 事故種類別の重大事故発生状況等

平成 21 年中の重大事故発生状況等を事故種類別にみると、図 2-7 に示すとおり、全体としてほぼ減少傾向にある中、死傷事故が昨年より大きく増加（73 件）し、それに伴って死者数、重傷者数も増加している。

〔図 2-7〕 事故種類別の重大事故発生状況等



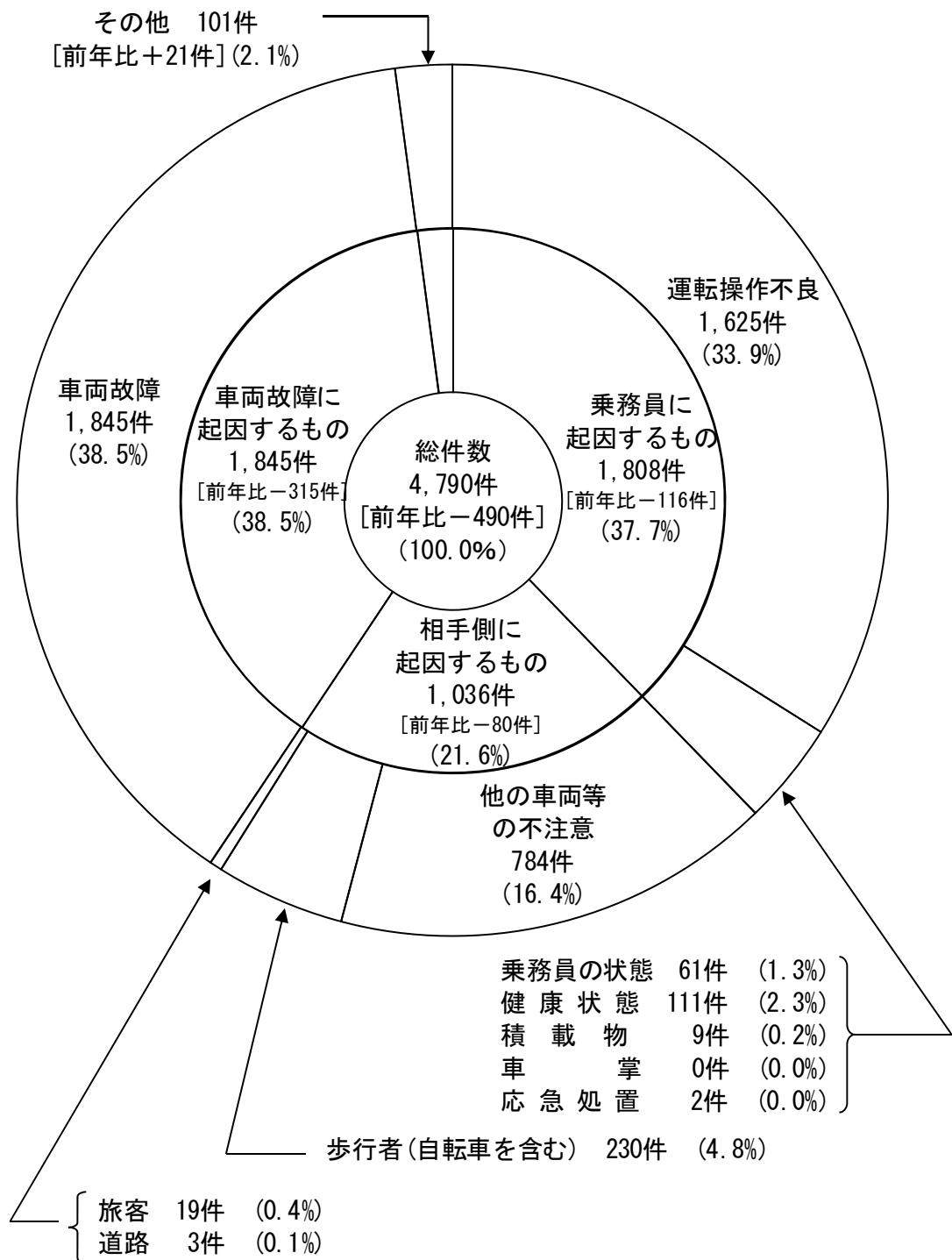


### 3. 原因別の重大事故発生状況

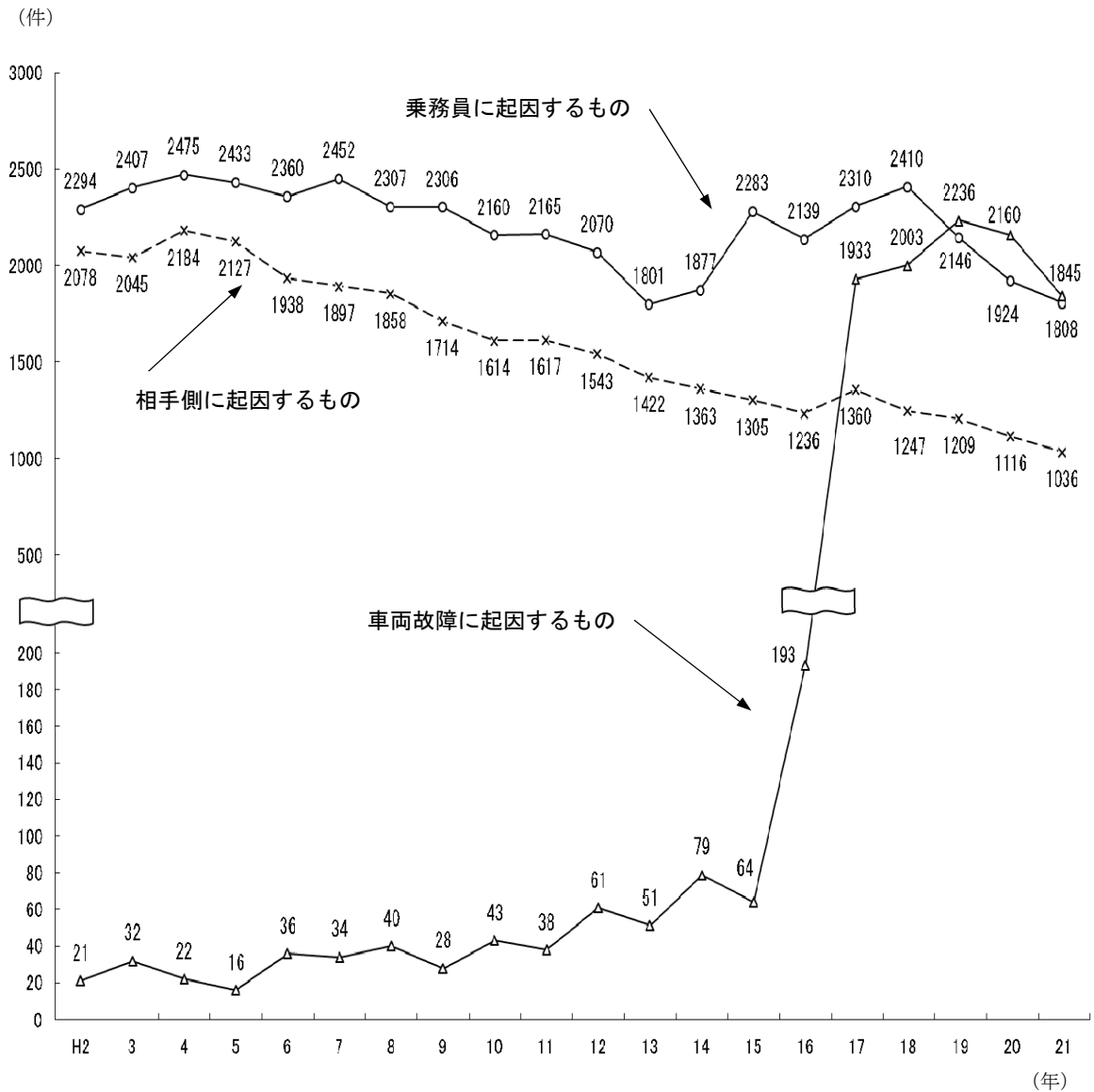
#### (1) 発生状況

平成 21 年中の重大事故発生状況を原因別にみると、図 3-1 に示すとおりである。  
また、原因別重大事故の発生状況の推移は、図 3-2 に示すとおりである。

〔図 3-1〕 原因別重大事故発生状況



〔図3-2〕 原因別重大事故発生状況の推移

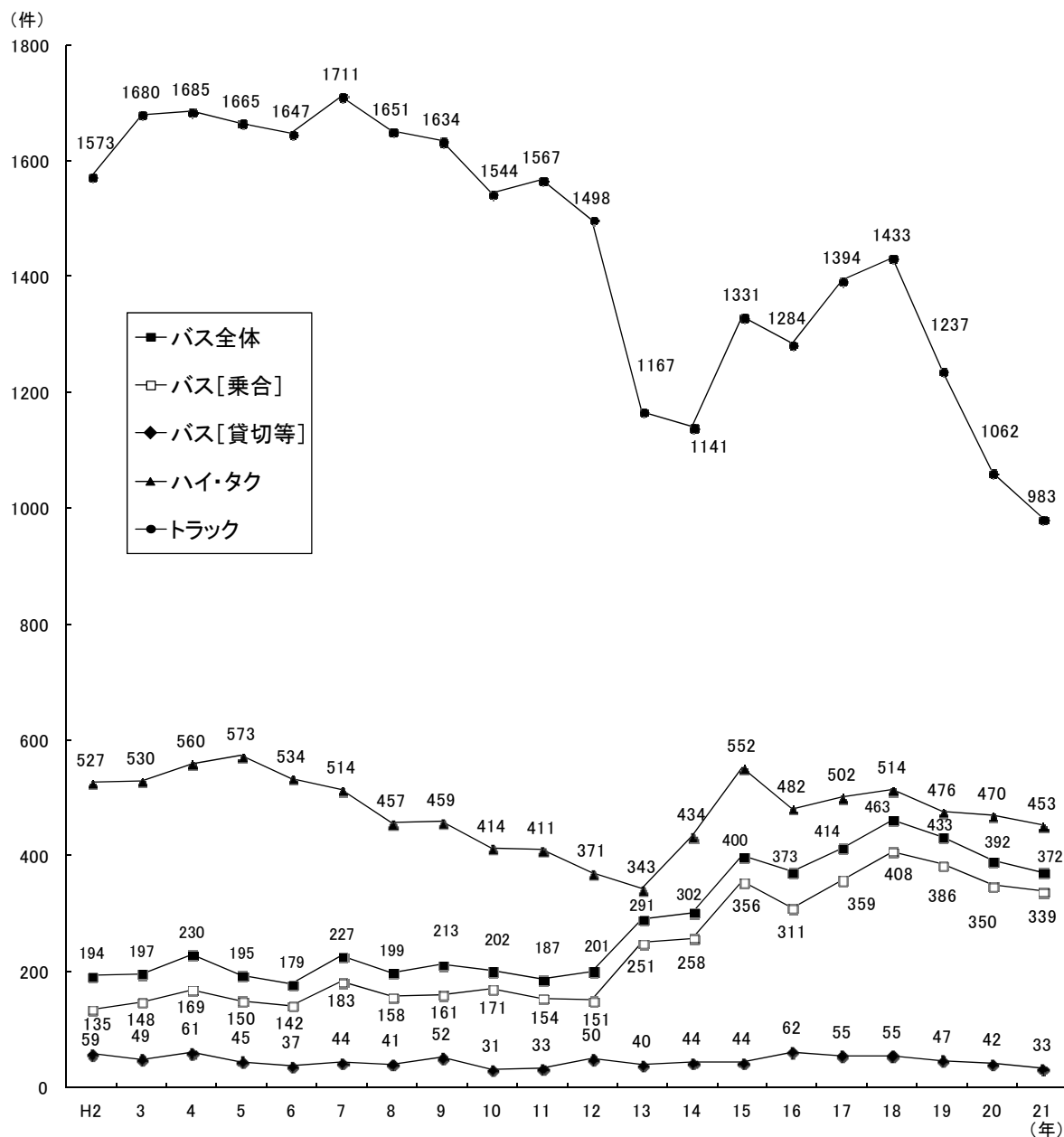


(注) 平成17年2月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

(2) 事業の種類別の重大事故発生状況の推移（乗務員に起因するもの）

平成 21 年中の乗務員に起因するものの事業の種類別の重大事故件数の推移をみると、  
図 3-3 に示すとおり、全体として、近年、減少傾向にある。

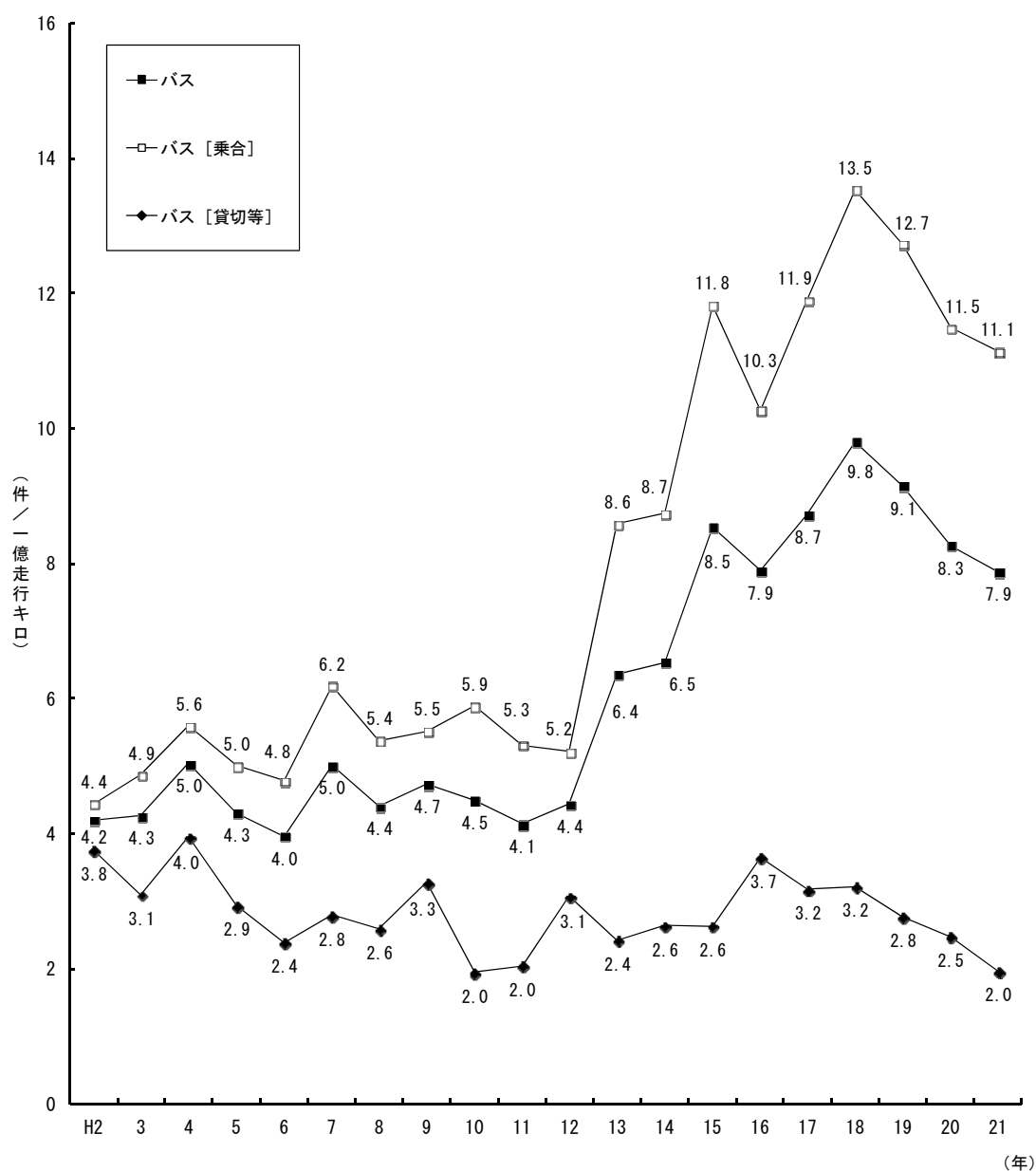
〔図 3-3〕 事業の種類別の重大事故発生状況の推移（乗務員に起因するもの）



(3) 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移 (乗務員に起因するもの)

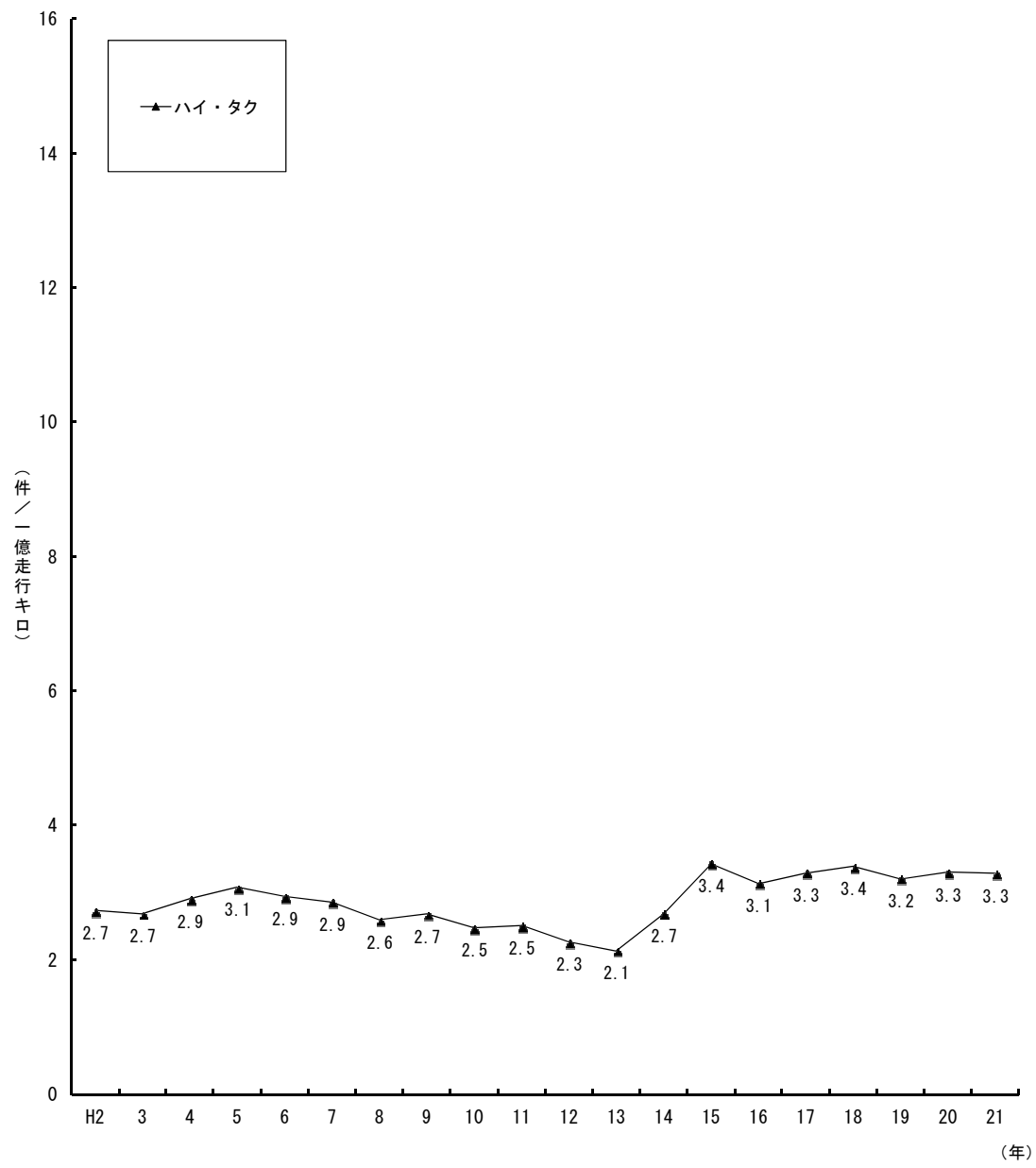
平成 21 年中の乗務員に起因するものの事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たりの重大事故件数の推移は図 3-4-1 から図 3-4-3 に示すとおり、近年、バス及びトラックでは減少傾向にあるものの、タクシーでは横ばいとなっている。

[図 3-4-1] バスの事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移  
(乗務員に起因するもの)

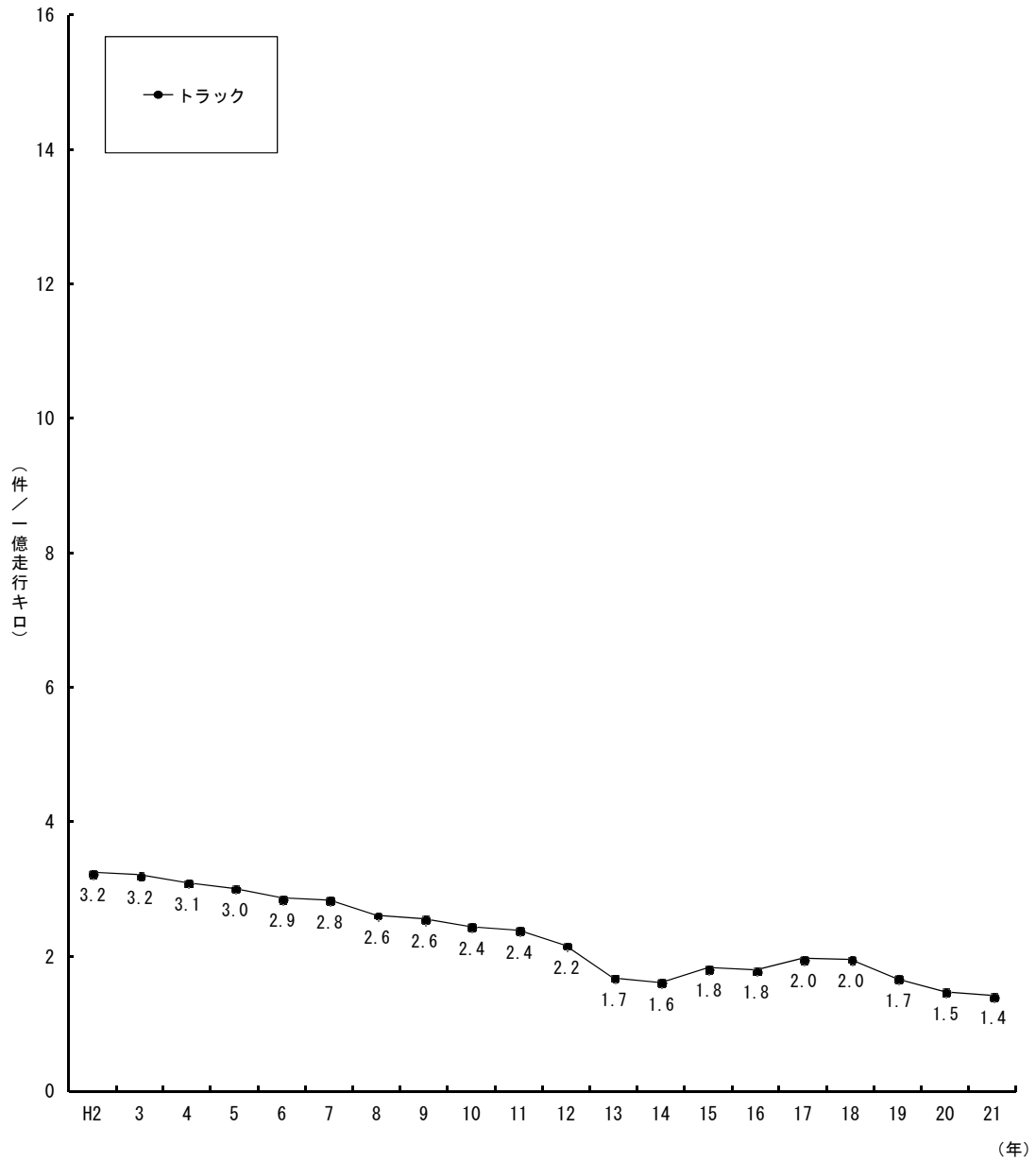




[図3-4-2] ハイ・タクの事業用自動車1億走行キロ当たり重大事故件数の推移  
 (乗務員に起因するもの)



[図3-4-3] トラックの事業用自動車1億走行キロ当たり重大事故件数の推移  
(乗務員に起因するもの)



(4) 事故の種類別の重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

(ア) 転覆、転落事故

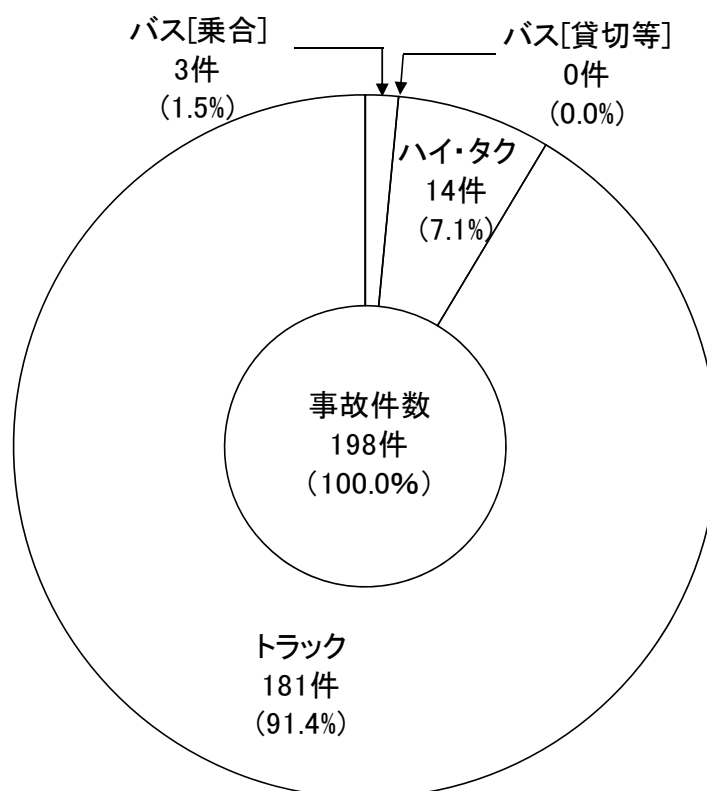
平成 21 年中の乗務員に起因する重大事故のうち、事業の種類別の転覆、転落事故発生状況等は、表 3-1 及び図 3-5 に示すとおりである。

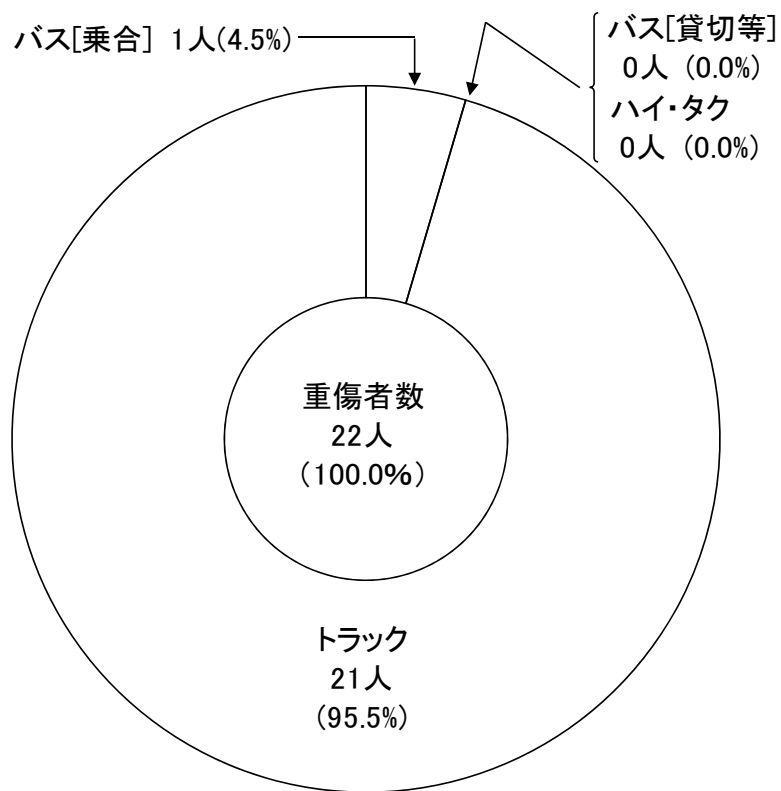
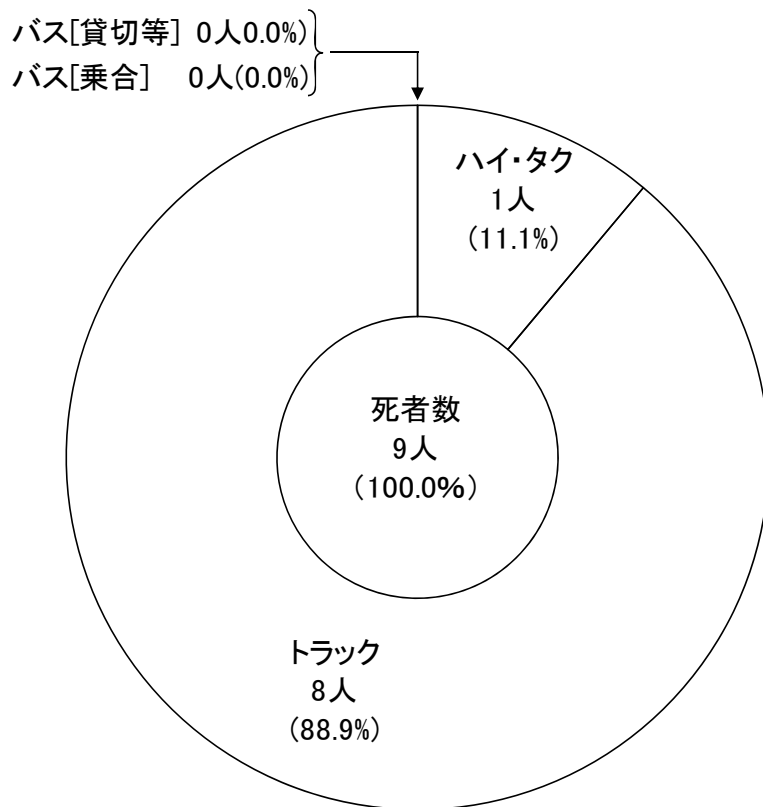
〔表 3-1〕 事業の種類別の転覆、転落事故発生状況等（乗務員に起因するもの）

事故状況		事故件数 (件)	死者数 (人)	重傷者数 (人)
事業の種類	乗 合	3(+ 3)	0(± 0)	1(+ 1)
	貸 切	0(- 2)	0(- 1)	0(- 2)
	特 定	0(± 0)	0(± 0)	0(± 0)
ハ イ ・ タ ク		14(- 4)	1(+ 1)	0(- 3)
ト ラ ッ ク		181(-20)	8(- 4)	21(+ 6)
計		198(-23)	9(- 4)	22(+ 2)

※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

〔図 3-5〕 事業の種類別の転覆、転落事故発生状況等（乗務員に起因するもの）





(イ) 踏切事故

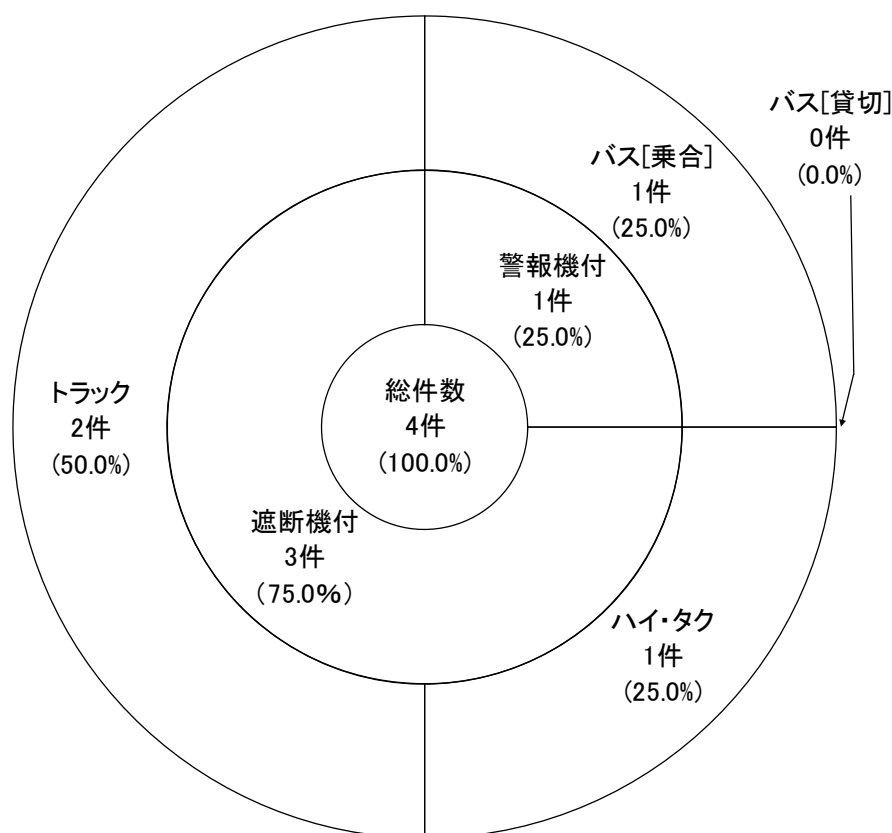
平成 21 年中の乗務員に起因する重大事故のうち、事業の種類別の踏切事故発生状況等は、表 3-2 に示すとおりであり、また、事業の種類別、踏切種類別の踏切事故発生状況は、図 3-6 に示すとおりである。

〔表 3-2〕 事業の種類別の踏切事故発生状況等（乗務員に起因するもの）

事業の種類		事故状況	事故件数 (件)	死者数 (人)	重傷者数 (人)
バス	乗合		1(± 0)	0(± 0)	3(+ 3)
	貸切		0(± 0)	0(± 0)	0(± 0)
	特定		0(± 0)	0(± 0)	0(± 0)
ハイ・タク			1(+ 1)	0(± 0)	1(+ 1)
トラック			2(- 3)	0(± 0)	0(± 0)
計			4(- 2)	0(± 0)	4(+ 4)

※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

〔図 3-6〕 事業の種類別、踏切種類別の踏切事故発生状況（乗務員に起因するもの）



(ウ) 衝突事故

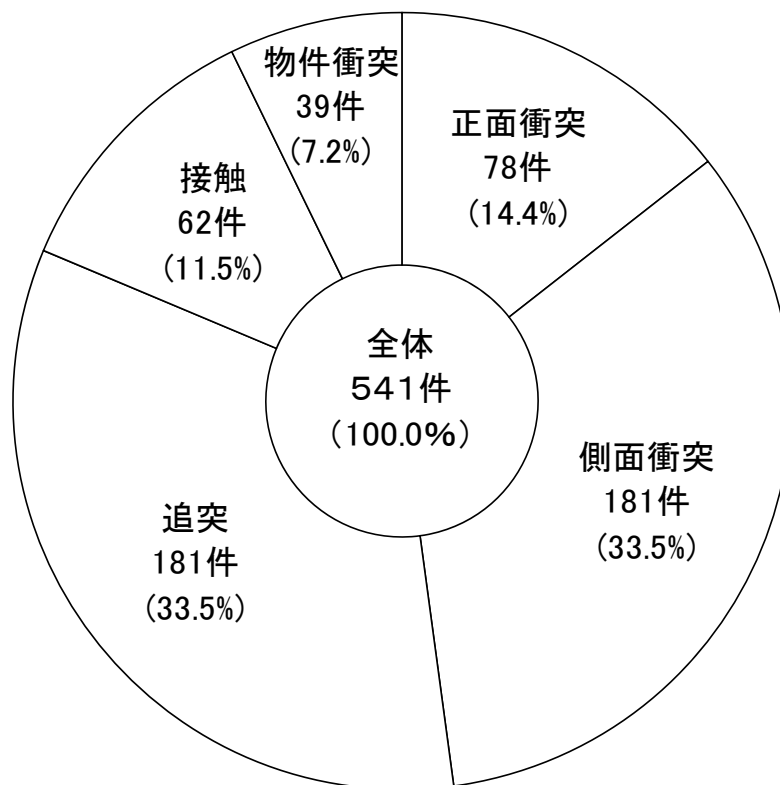
平成 21 年中の乗務員に起因する重大事故のうち、事業の種類別の衝突事故発生状況は、表 3-3 に示すとおりである。また、事業の種類別、衝突の状態別の衝突事故発生状況は、図 3-7 に示すとおりである。

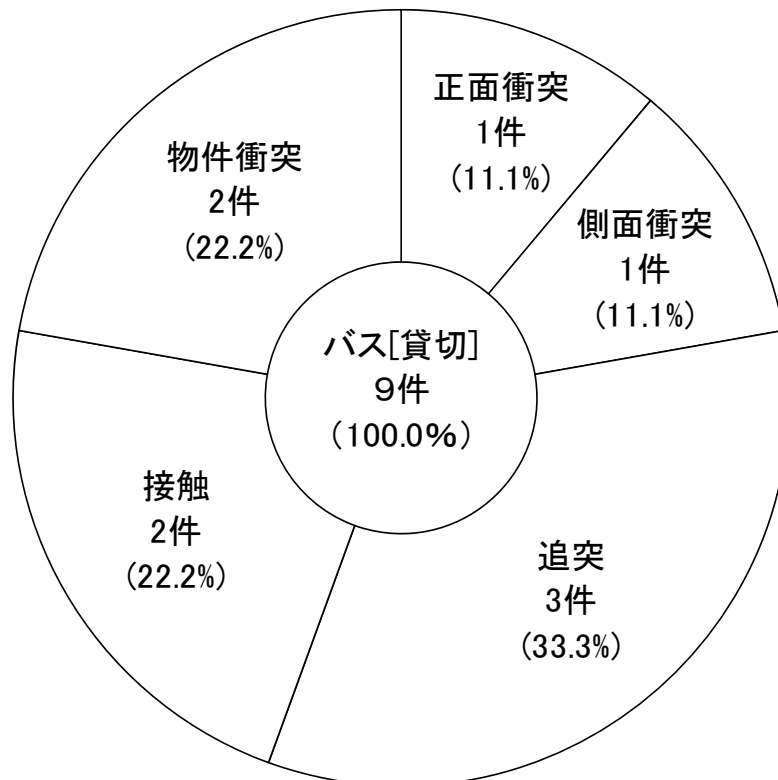
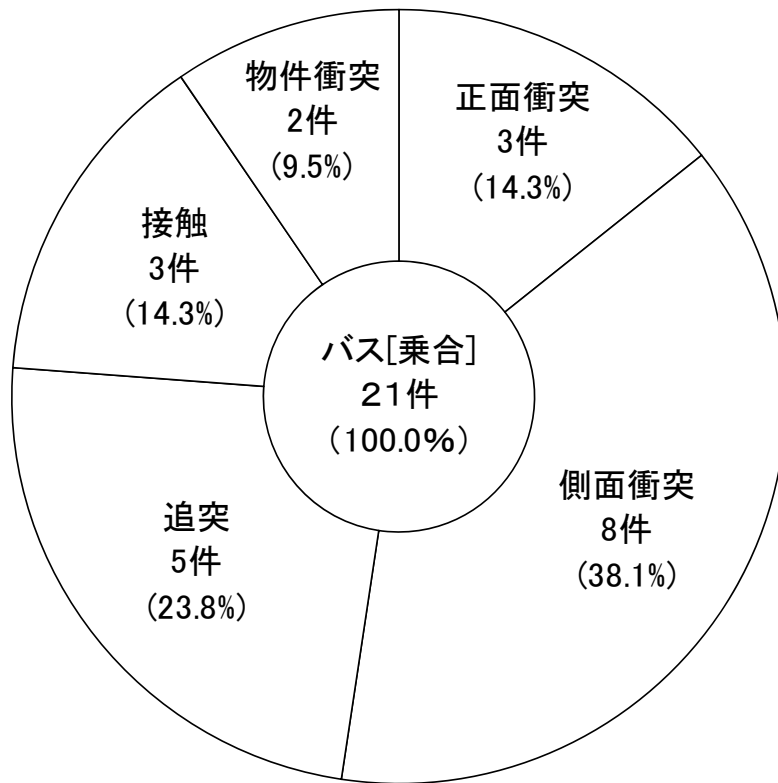
[表 3-3] 事業の種類別の衝突事故発生状況 (乗務員に起因するもの)

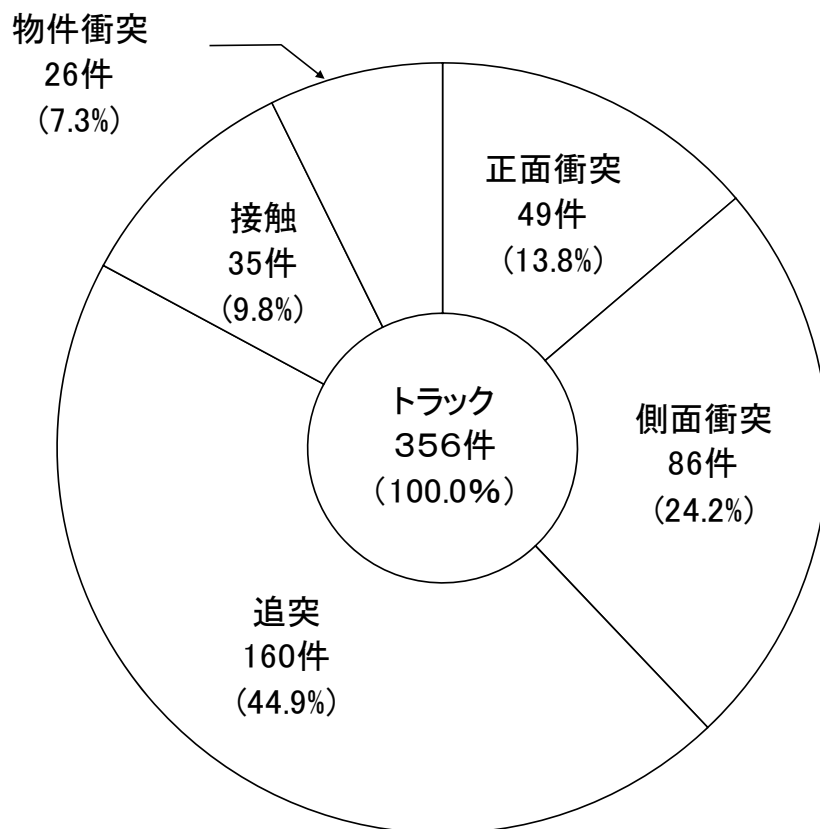
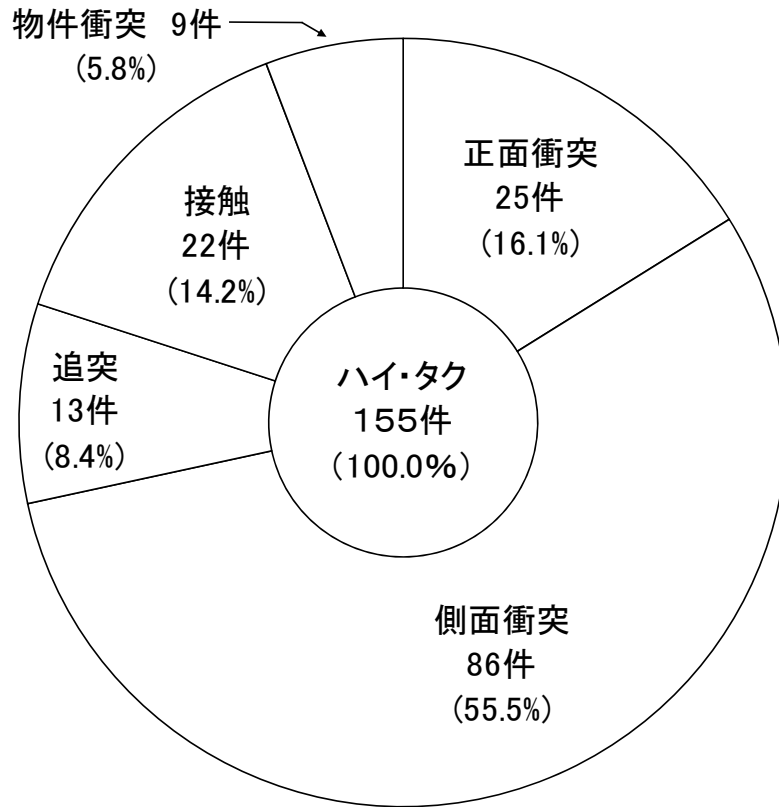
事業の種類		事故状況	事故件数 (件)	死者数 (人)	重傷者数 (人)
バス	乗合		21(+ 2)	2(± 0)	16(+ 1)
	貸切		9(- 5)	0(± 0)	6(- 4)
	特定		0(± 0)	0(± 0)	0(± 0)
ハイ・タク			155(-21)	10(- 4)	143(-14)
トラック			356(-48)	113(-30)	252(+ 1)
計			541(-72)	125(-34)	417(-16)

※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

[図 3-7] 事業の種類別、衝突の状態別の衝突事故発生状況 (乗務員に起因するもの)









(エ) 車内事故

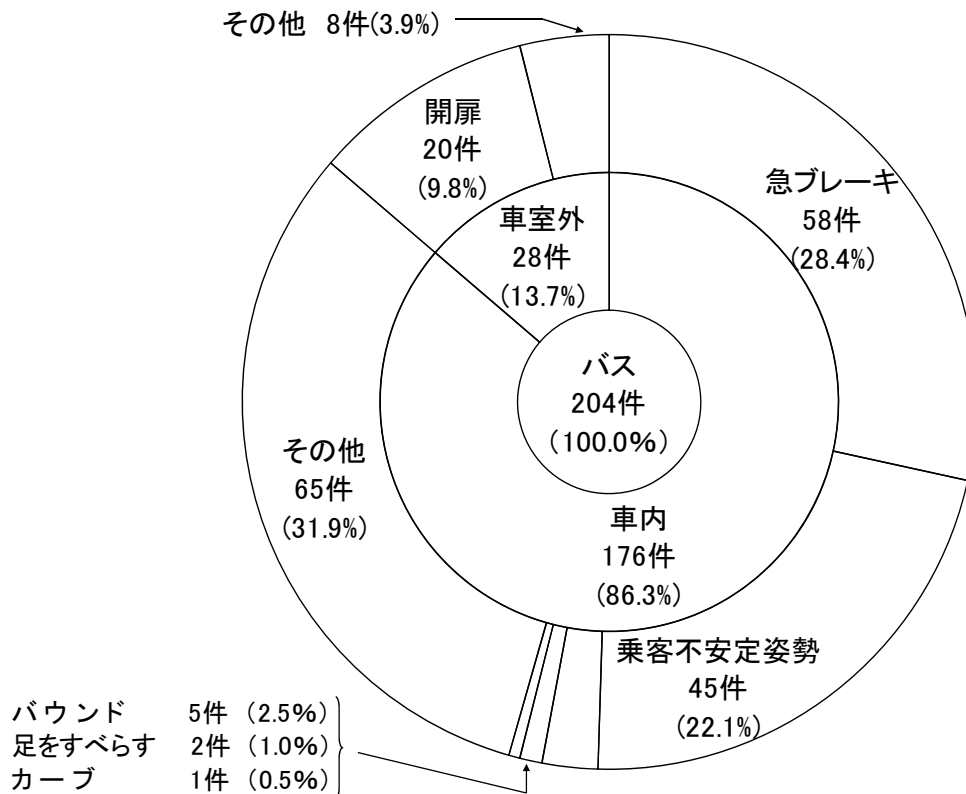
平成 21 年中の乗務員に起因する重大事故のうち、事業の種類別の車内事故発生状況は、表 3-4 に示すとおりである。また、事業の種類別、原因別の車内事故発生状況は、図 3-8 に示すとおりである。

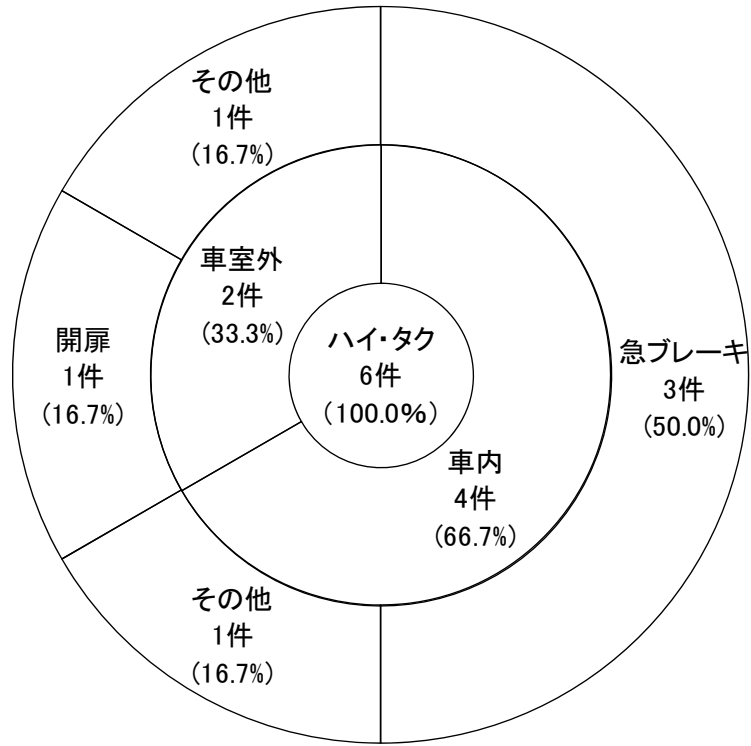
[表 3-4] 事業の種類別の車内事故発生状況 (乗務員に起因するもの)

事業の種類		事故状況	事故件数 (件)	死者数 (人)	重傷者数 (人)
バス	乗合		200(-38)	0(-1)	108(-11)
	貸切		4(+2)	0(±0)	3(+3)
	特定		0(-1)	0(±0)	0(-1)
ハイ・タク			6(-4)	0(-1)	2(-3)
計			210(-41)	0(-2)	113(-12)

※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

[図 3-8] 事業の種類別、原因別の車内事故発生状況 (乗務員に起因するもの)





(オ) 死傷事故

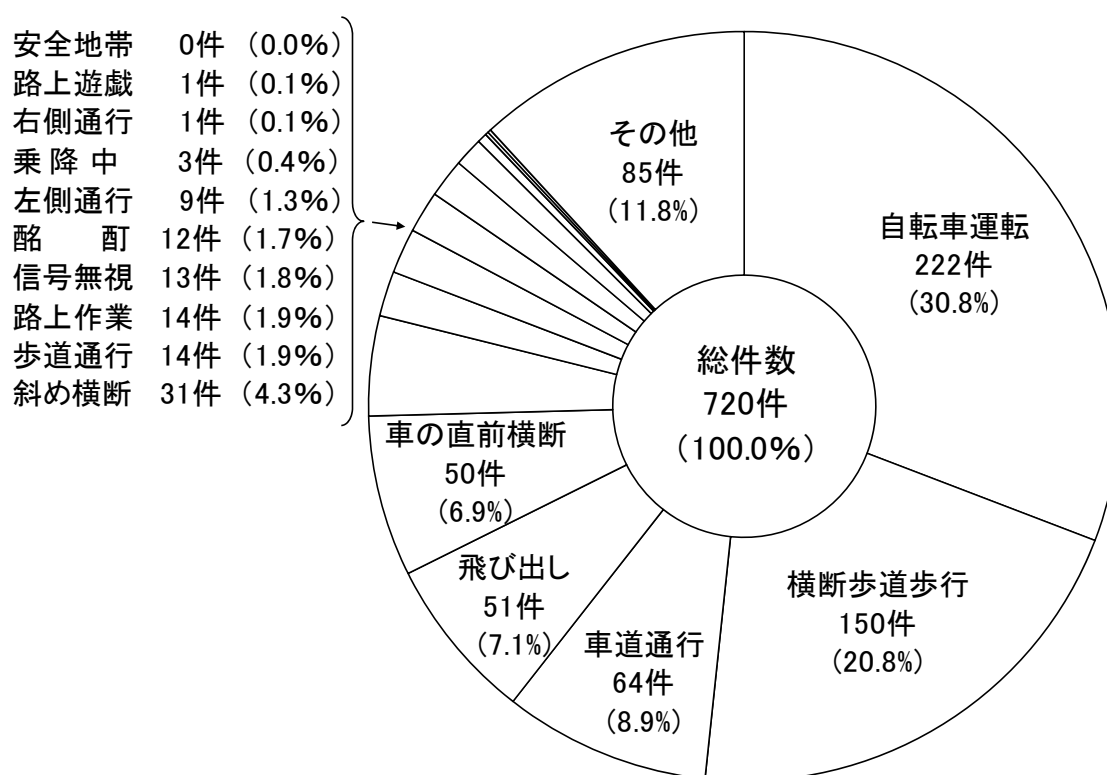
平成 21 年中の乗務員に起因する重大事故のうち、事業の種類別の死傷事故発生状況は、表 3-5 に示すとおりである。また、その死傷事故当時の死傷者側の状態は、図 3-9 に示すとおりである。

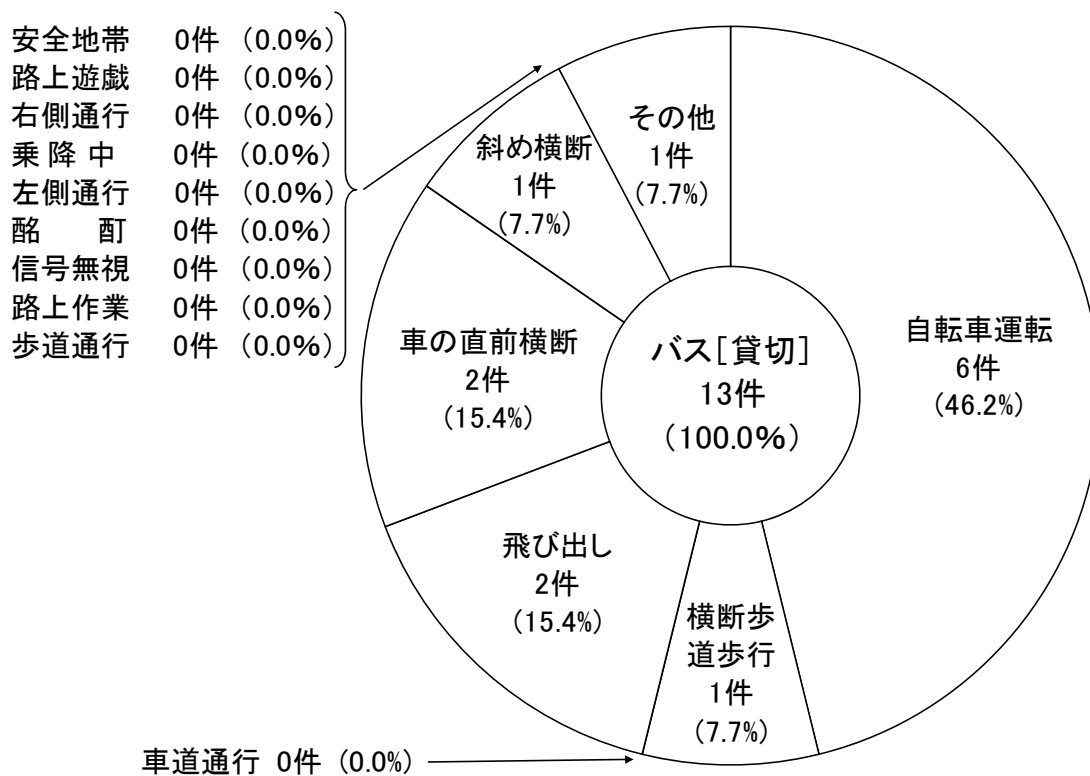
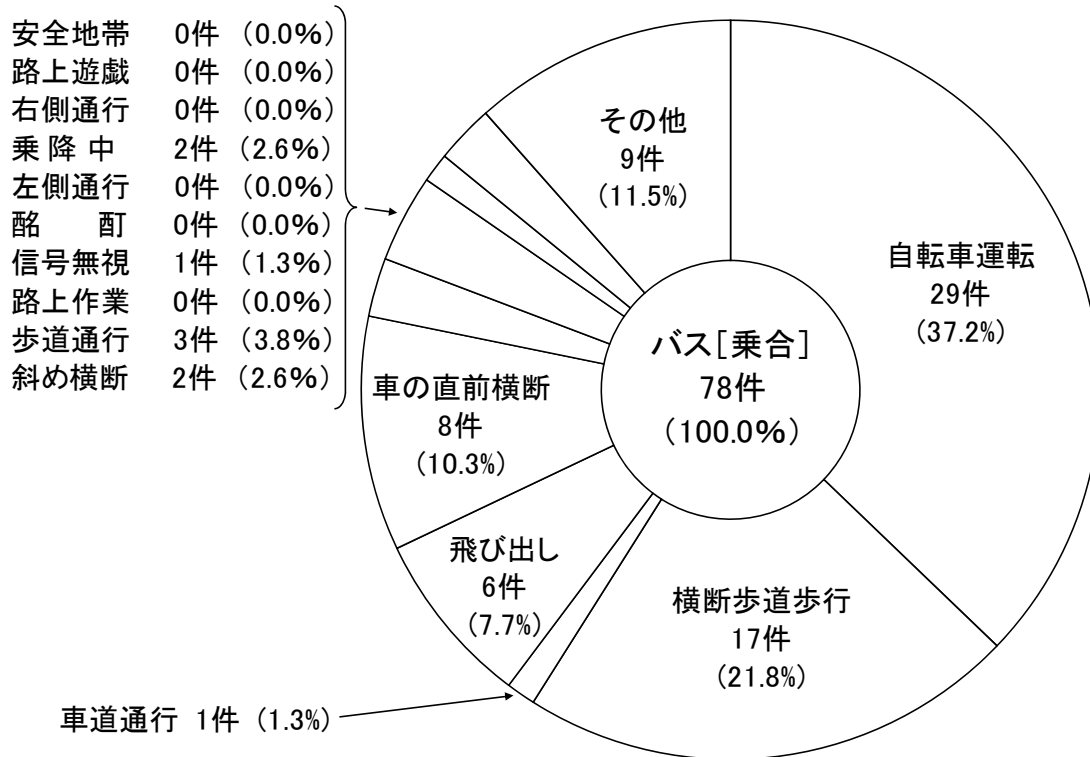
〔表 3-5〕 事業の種類別の死傷事故の発生状況（乗務員に起因するもの）

事業の種類		事故状況	事故件数 (件)	死者数 (人)	重傷者数 (人)
バス	乗合		78(+28)	12(+ 8)	66(+21)
	貸切		13(+ 3)	4(+ 1)	8(± 0)
	特定		0(- 2)	0(- 1)	0(- 1)
ハイ・タク			237(+15)	32(+ 1)	202(+12)
トラック			392(+ 6)	218(± 0)	188(+10)
計			720(+50)	266(- 9)	464(+42)

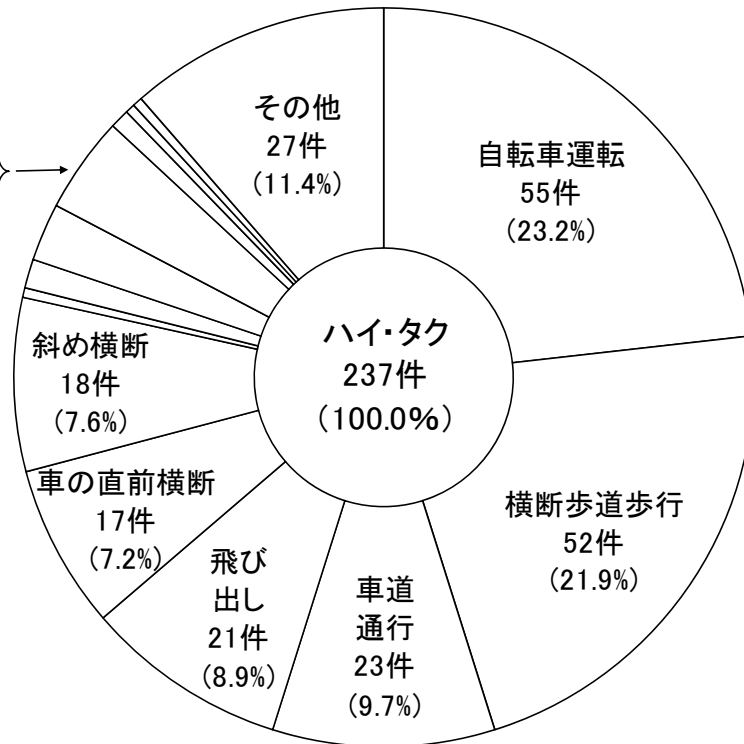
※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

〔図 3-9〕 死傷事故当時の死傷者側の状態（乗務員に起因するもの）

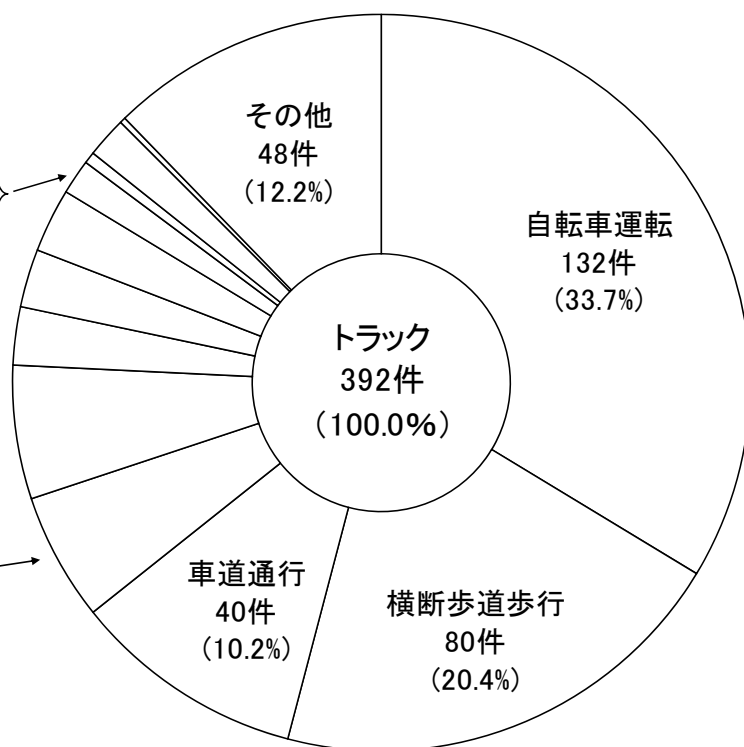




安全地帯	0件	(0.0%)
路上遊戯	1件	(0.4%)
右側通行	0件	(0.0%)
乗降中	1件	(0.4%)
左側通行	2件	(0.8%)
酩酊	10件	(4.2%)
信号無視	6件	(2.5%)
路上作業	3件	(1.3%)
歩道通行	1件	(0.4%)



安全地帯	0件	(0.0%)
路上遊戯	0件	(0.0%)
右側通行	1件	(0.3%)
乗降中	0件	(0.0%)
左側通行	7件	(1.8%)
酩酊	2件	(0.5%)
信号無視	6件	(1.5%)
路上作業	11件	(2.8%)
歩道通行	10件	(2.6%)
斜め横断	10件	(2.6%)



(カ) 運転者の健康状態

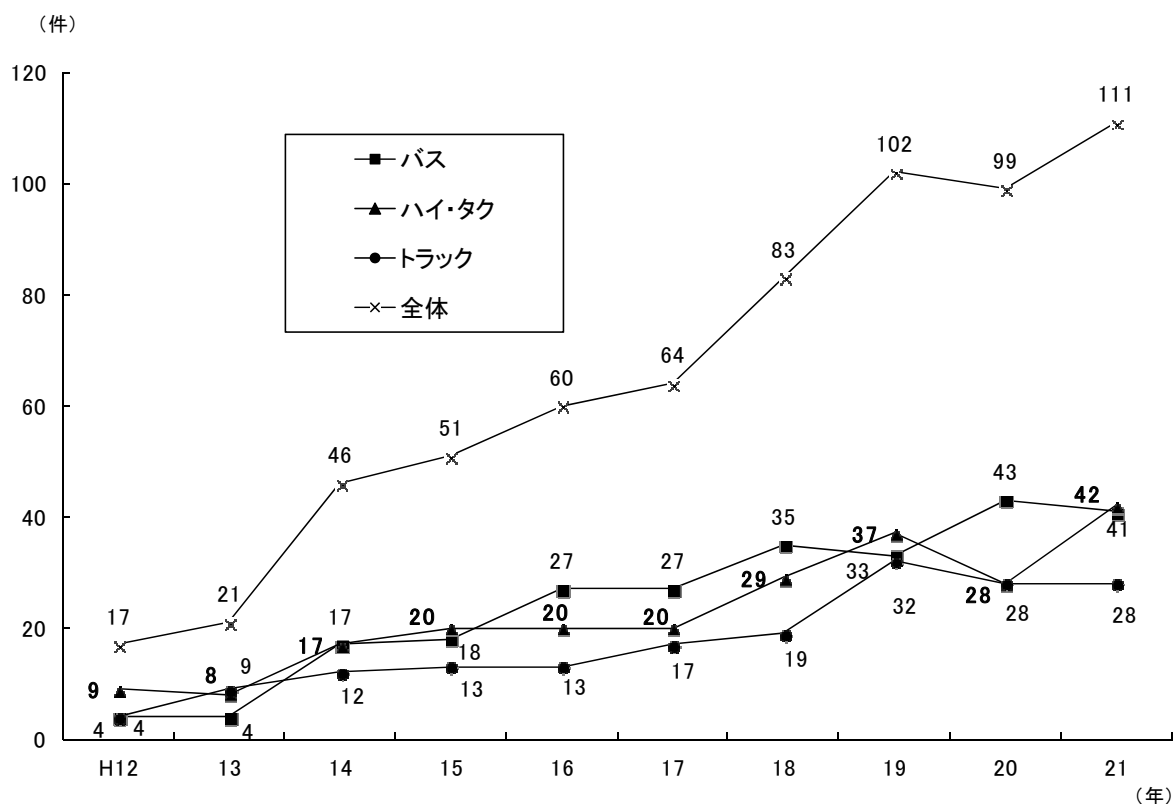
平成 21 年中の乗務員に起因する重大事故のうち、事業の種類別の運転者の健康状態に起因する事故発生状況は、表 3-6 に示すとおりである。また、その発生状況の推移は、図 3-10 に示すとおりであり、この事故の運転者の年齢分布は、図 3-11 に、病名別の運転者数は、表 3-7 に示すとおりである。

〔表 3-6〕 事業の種類別の運転者の健康状態に起因する事故の発生状況

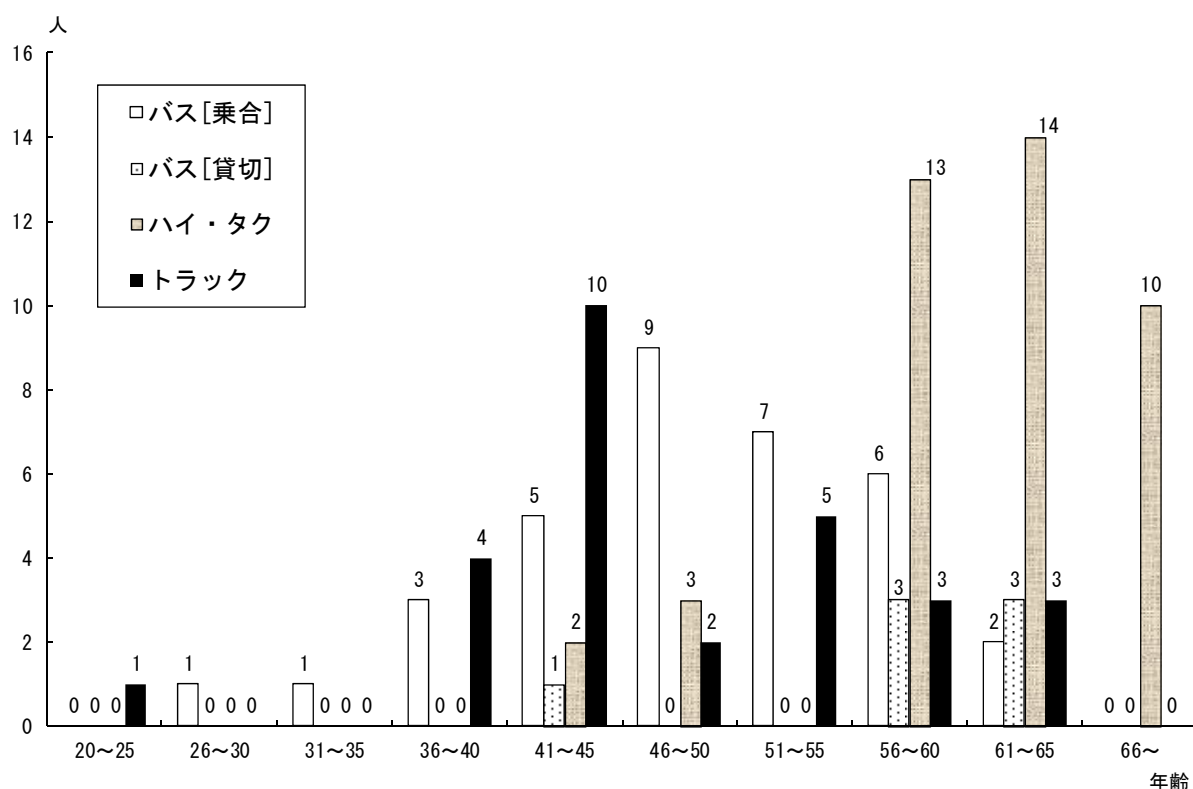
事業の種類 \ 事故状況	事故件数 (件)	死者数 (人)	重傷者数 (人)
バス	41(- 2)	5(+ 2)	9(+ 4)
ハイ・タク	42(+14)	13(+ 1)	18(+11)
トラック	28(± 0)	17(+ 5)	4(+ 1)
計	111(+12)	35(+ 8)	31(+16)

※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

〔図 3-10〕 運転者の健康状態に起因する事故の発生状況の推移



[図3-11] 健康状態に起因する事故の運転者の年齢分布



[表3-7] 健康状態に起因する事故の病名別運転者数

事業の種類 病名	運転者数					死亡運転者数				
	バス [乗合]	バス [貸切]	ハイ ・ タク	トラ ック	合計	バス [乗合]	バス [貸切]	ハイ ・ タク	トラ ック	合計
くも膜下出血	2	0	4	5	11	0	0	1	3	4
脳血栓	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
脳(その他)	7	0	9	5	21	0	0	0	0	0
心筋梗塞	1	2	5	7	15	1	1	5	6	13
心臓(その他)	3	1	6	4	14	1	1	2	4	8
失神	1	0	2	1	4	0	0	1	0	1
その他	20	4	15	6	45	1	0	4	2	7
計	34	7	42	28	111	3	2	13	15	33

(5) 事故発生運転者の状況（運転者に起因するもの）

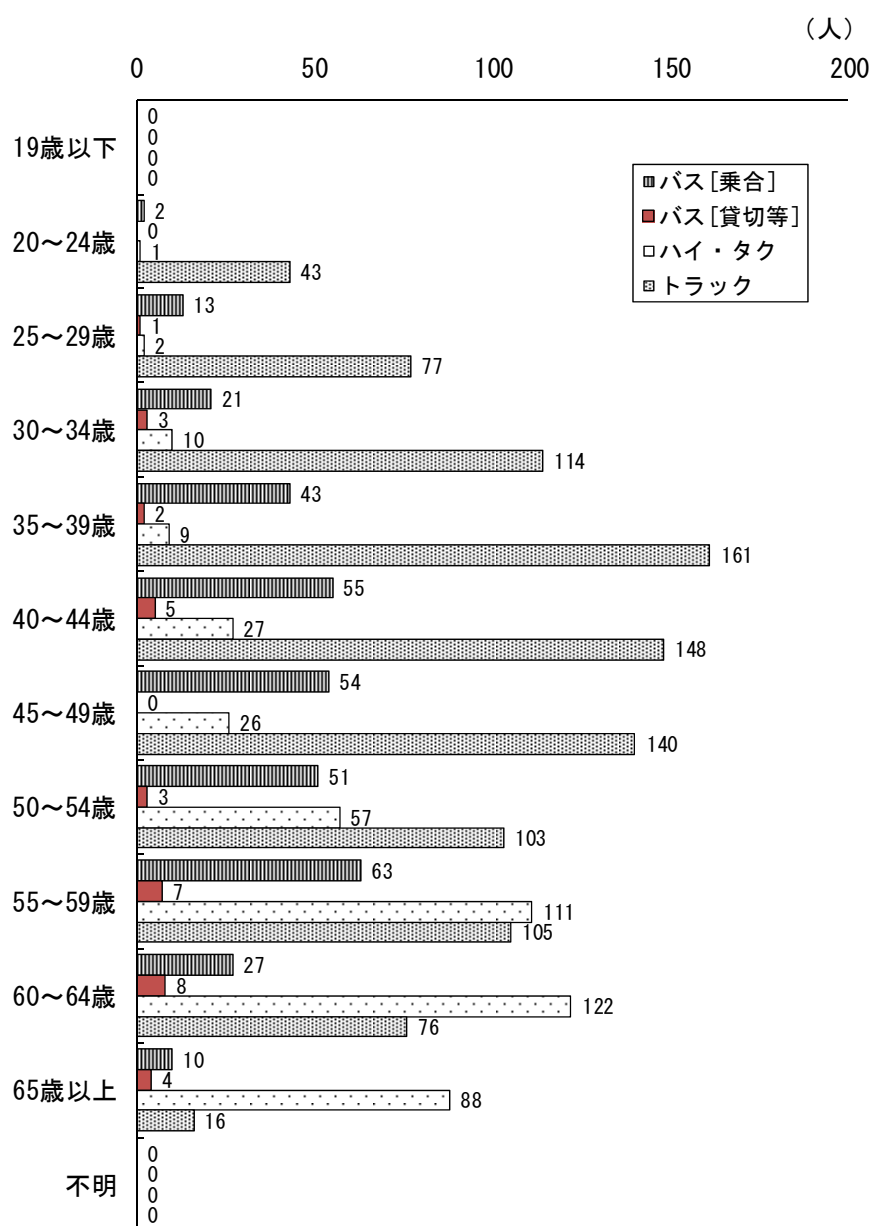
(ア) 事故発生運転者の年齢

平成 21 中の事業の種類別の事故発生運転者の年齢分布は、図 3 - 1 2 に示すとおりである。

なお、重大事故発生運転者の平均年齢は、乗合バスが 47.5 歳、貸切バス等が 52.6 歳、ハイ・タクが 57.4 歳、トラックが 43.3 歳である。

(参考) 事業の種類別運転者全体の平均年齢は、乗合バスが 46.4 歳、貸切バスが 49.4 歳、ハイ・タクが 57.5 歳、トラックが 43.3 歳

〔図 3 - 1 2〕 事業の種類別事故発生運転者の年齢分布

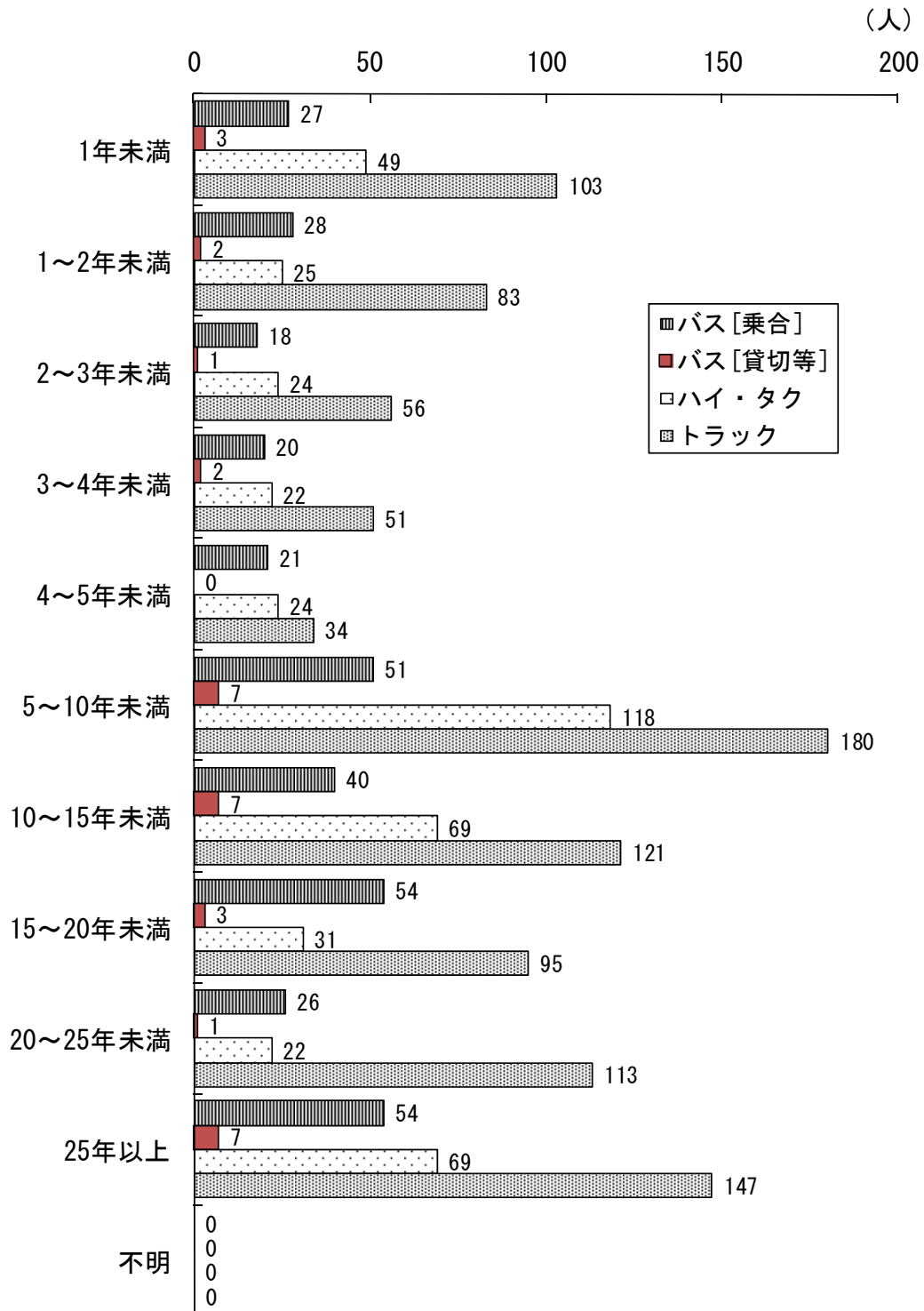




(イ) 事故発生運転者の経験年数

平成 21 中の事業の種類別の事故発生運転者の事業用自動車の運転経験年数分布は、  
図 3-13 に示すとおりである。

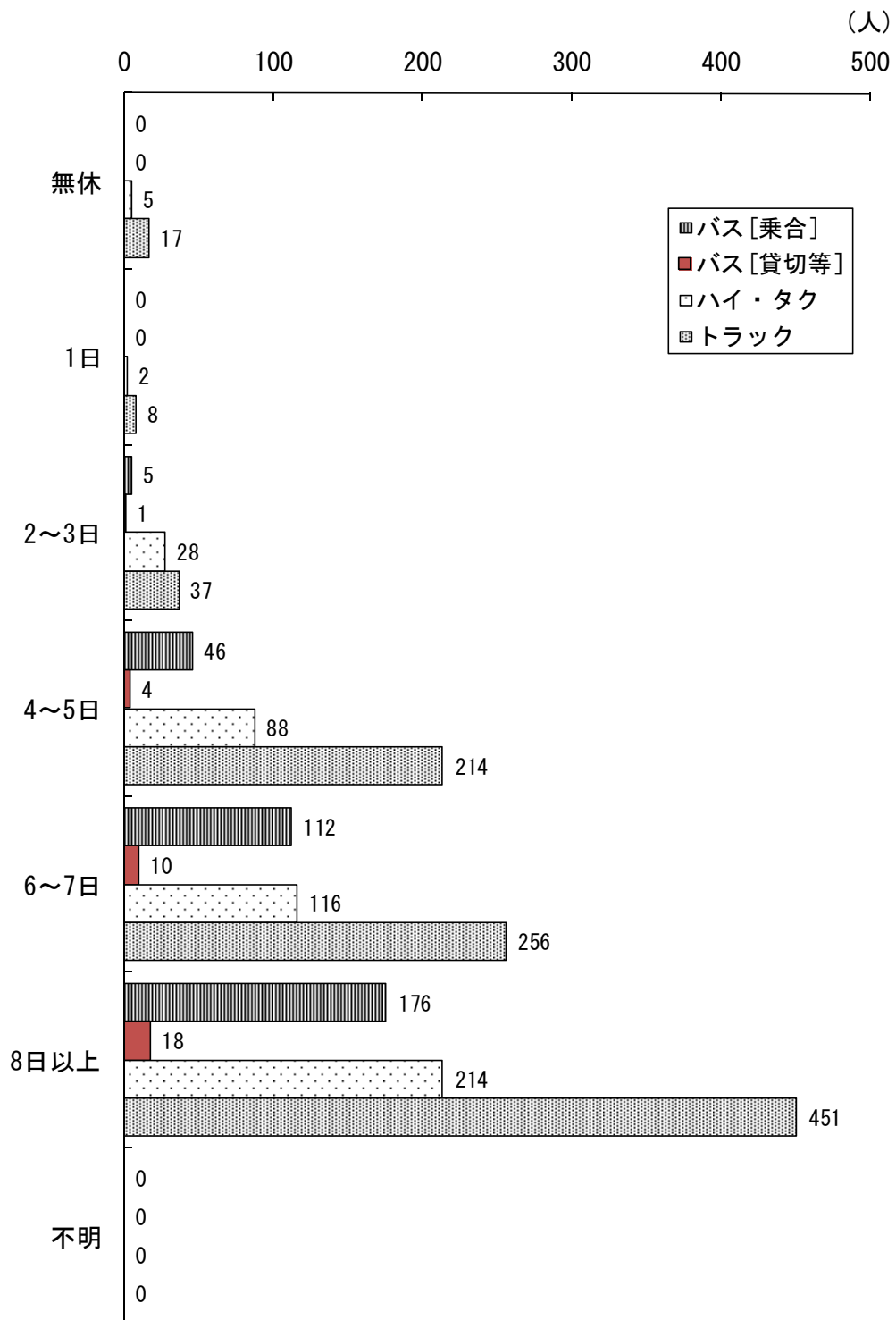
〔図 3-13〕 事業の種類別の事故発生運転者の経験年数分布



(ウ) 事故発生運転者の事故発生以前1ヶ月間の休日日数

平成21年中の事業の種類別の事故発生運転者の事故発生以前1ヶ月間の休日日数は、  
図3-14に示すとおりである。

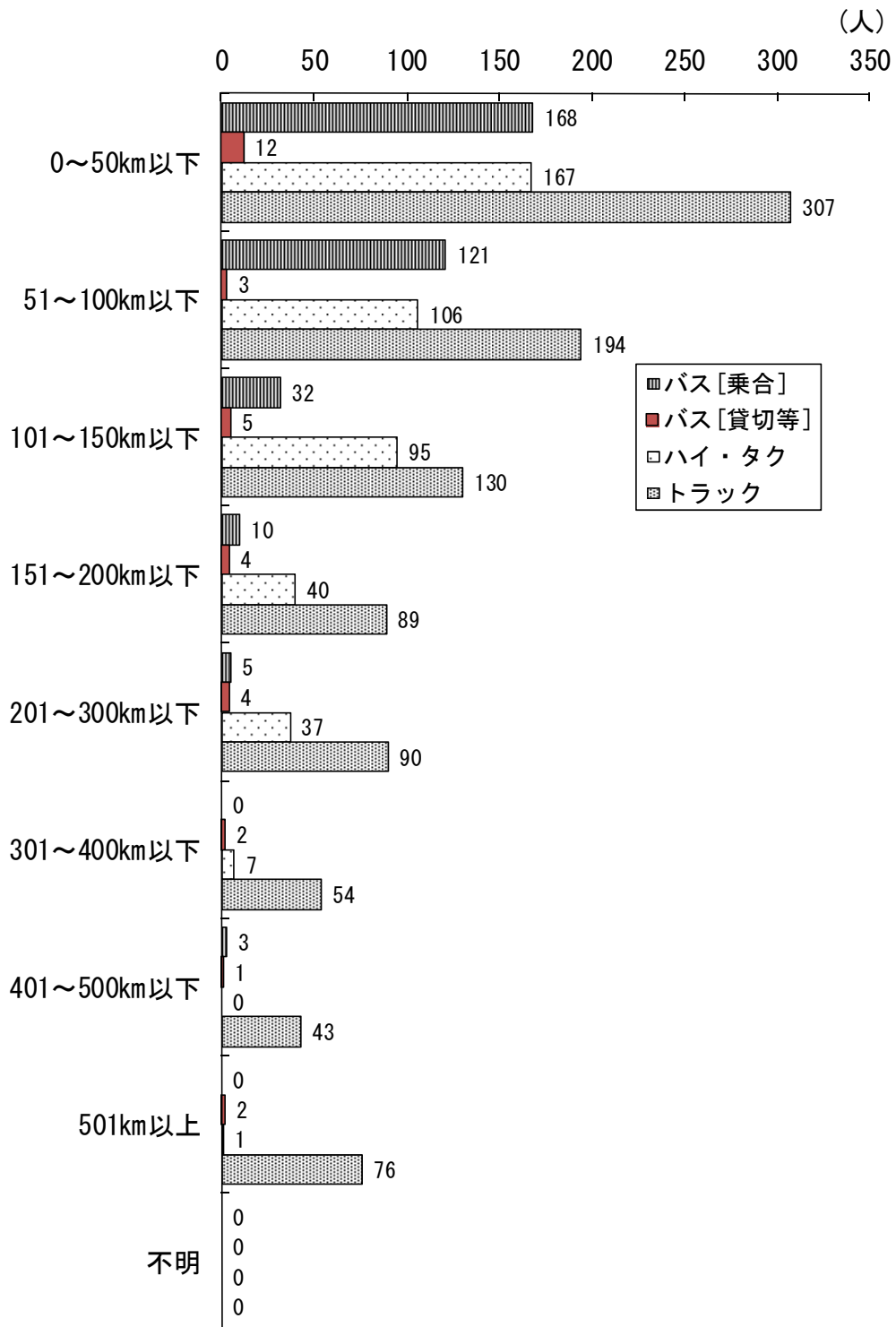
〔図3-14〕 事業の種類別の事故発生運転者の  
事故発生以前1ヶ月間の休日日数の分布



(エ) 事故発生運転者の事故発生までの乗務距離

平成 21 年中の事業の種類別の事故発生運転者の事故発生までの乗務距離は、図 3 - 15 に示すとおりである。

〔図 3 - 15〕 事業の種類別の事故発生運転者の  
事故発生までの乗務距離の分布

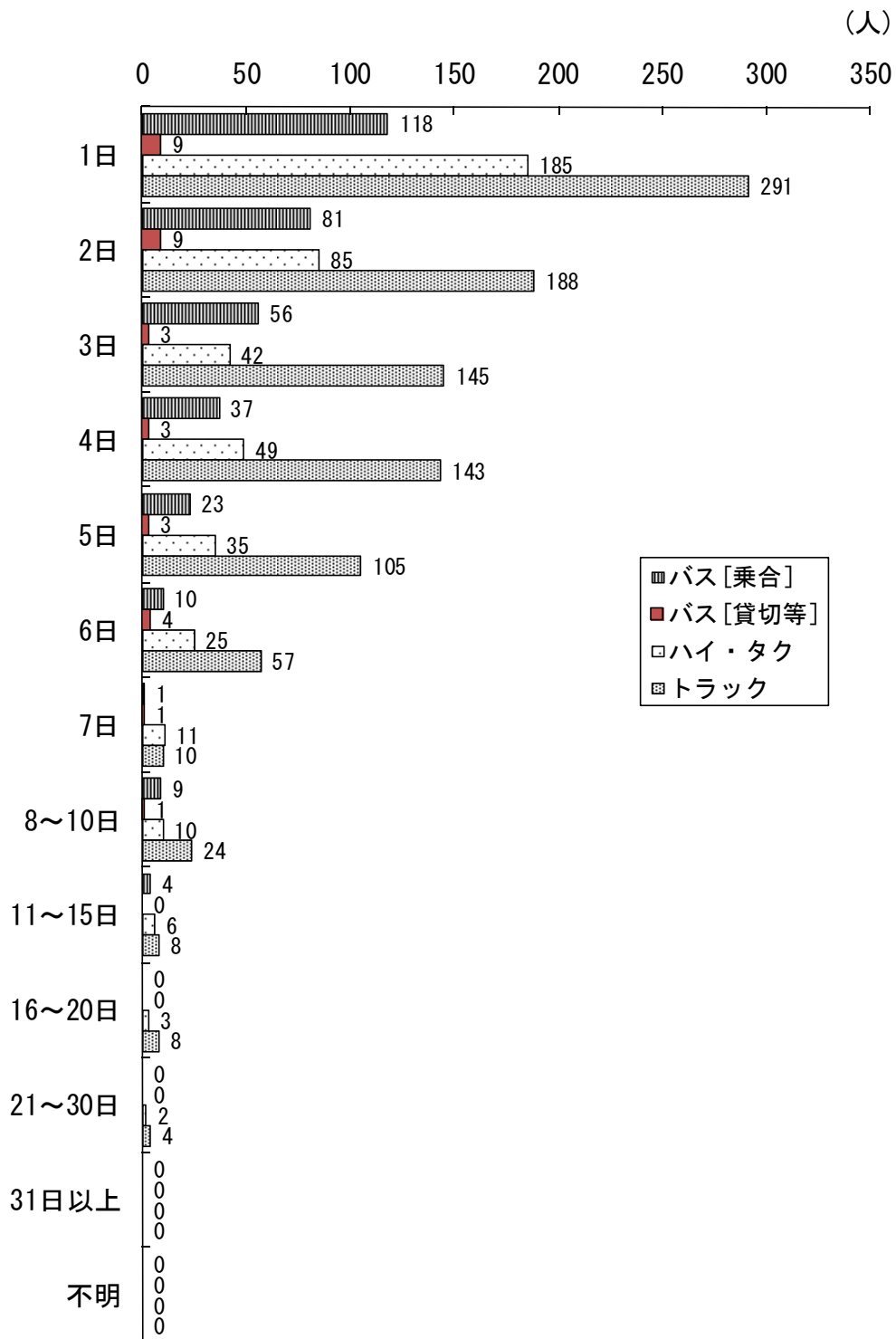


(オ) 事故発生運転者の休日から事故までの勤務日数

平成 21 中の事業の種類別の事故発生運転者の休日から事故までの勤務日数は、図 3-16 に示すとおりである。

〔図 3-16〕 事業の種類別の事故発生運転者の

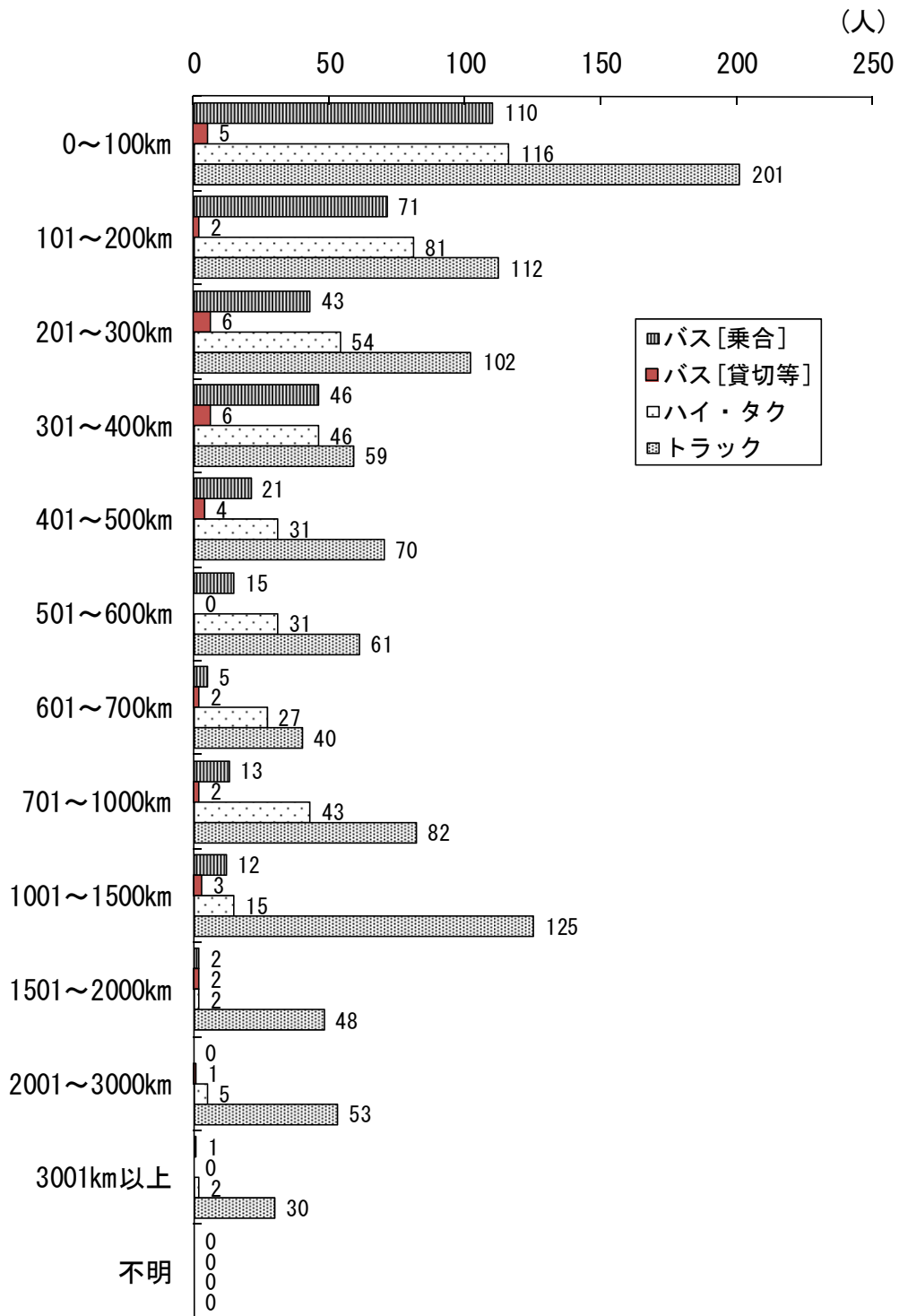
休日から事故までの勤務日数の分布



(カ) 事故発生運転者の休日から事故日までの乗務距離の合計

平成 21 中の事業の種類別の事故発生運転者の休日から事故日までの乗務距離の合計は、図 3-17 に示すとおりである。

〔図 3-17〕 事業の種類別の事故発生運転者の  
休日から事故日までの乗務距離の合計の分布



(6) 車両故障に起因する重大事故発生状況

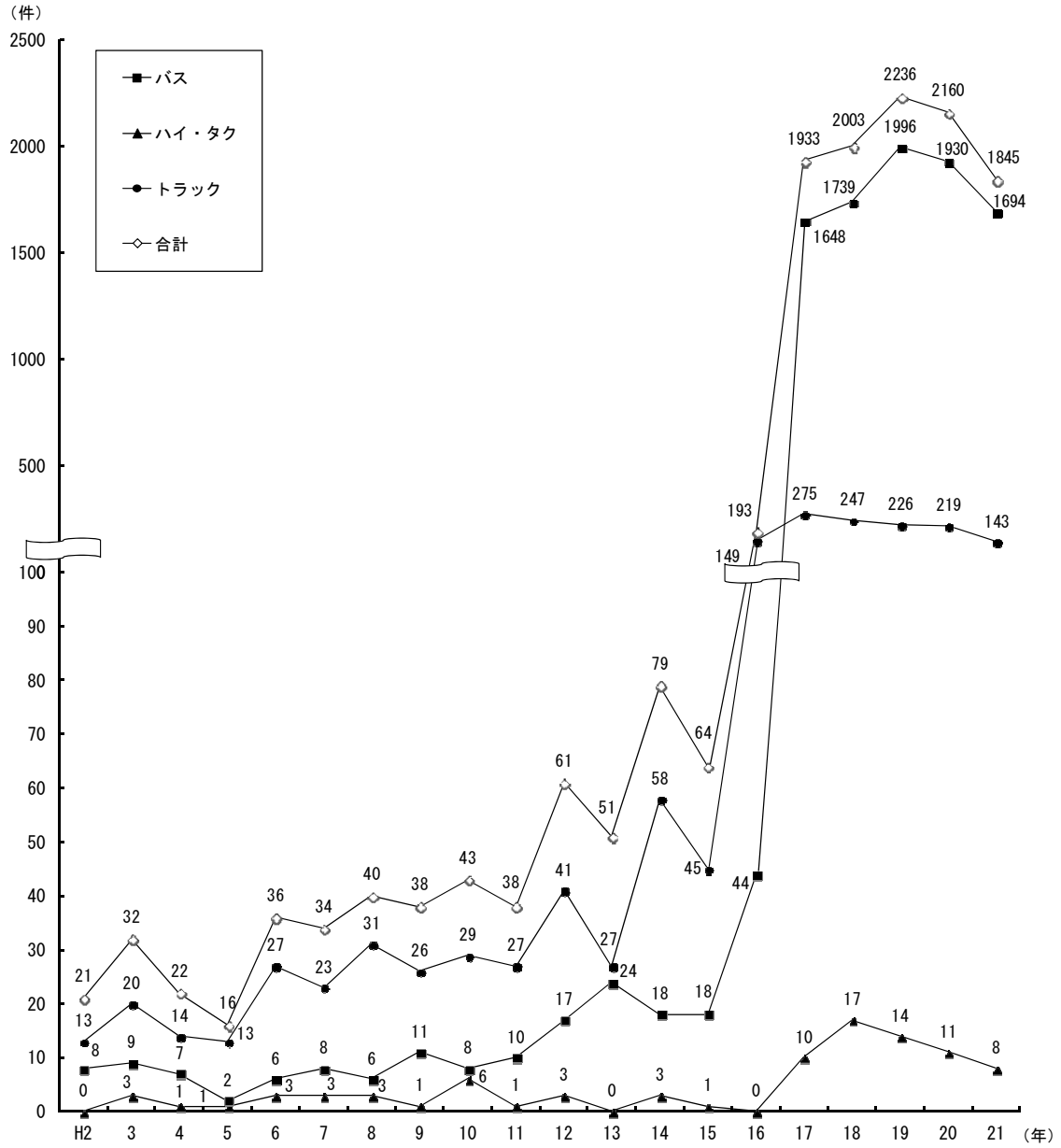
平成 21 年中の事業の種類別の車両故障に起因する事故発生状況等は、表 3-7 に示すとおりである。また、事業の種類別の車両故障に起因する事故発生状況の推移は、図 3-18 に、事業の種類別の車両故障に起因する事故の装置別件数は、表 3-8 に示すとおりである。

〔表 3-7〕 事業の種類別の車両故障に起因する事故発生状況等

事故状況 事業の種類		事故件数 (件)	死者数 (人)	重傷者数 (人)
バス	乗合	1,491(-224)	0(± 0)	0(- 6)
	貸切	197(- 11)	0(± 0)	0(± 0)
	特定	6(- 1)	0(± 0)	0(± 0)
ハイ・タク		8(- 3)	0(± 0)	0(± 0)
トラック		143(- 76)	1(± 0)	1(± 0)
計		1,845(-315)	1(± 0)	1(- 6)

※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

〔図3-18〕 車両故障事故発生状況の推移



〔表3-8〕 事業の種類別の車両故障に起因する事故の装置別件数

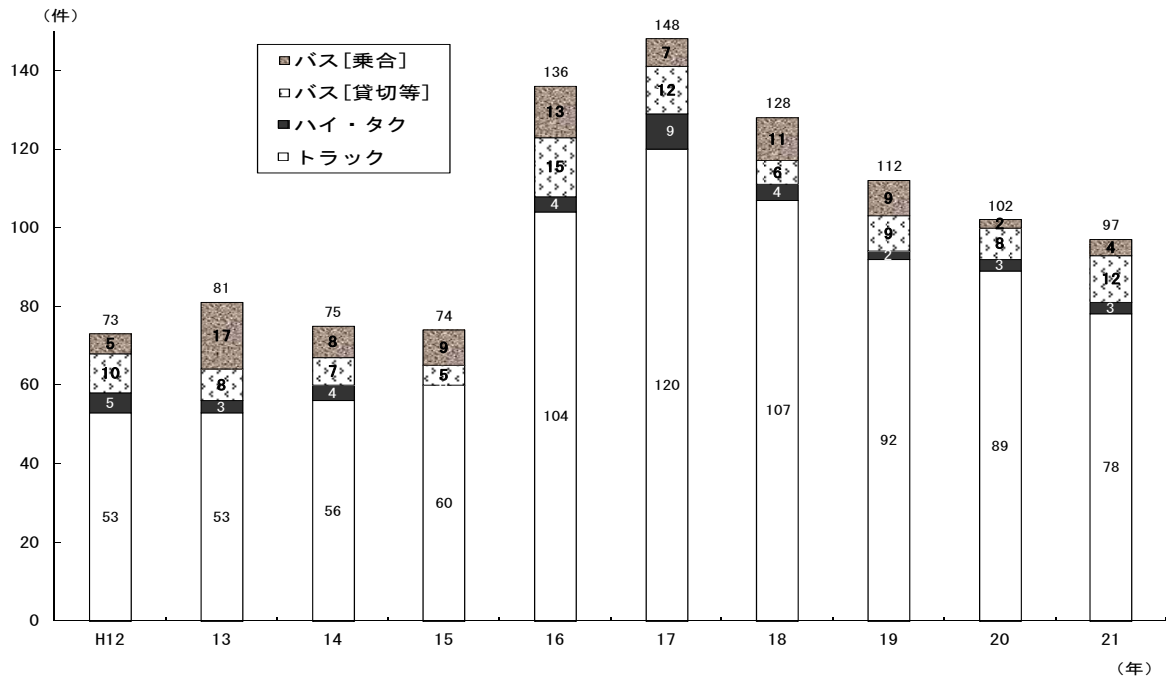
事業の種類 装 置	乗合バス	貸切 バス等	ハイ・ タク	トラック	合計
原 動 機	298	55	0	25	378
速 度 抑 制 装 置	1	0	0	0	1
動 力 伝 達 装 置	280	32	0	16	328
車 輪 ( タ イ ヤ 除 く )	2	1	1	14	18
タ イ ヤ	40	6	0	15	61
車 軸	2	0	1	18	21
操 縦 装 置	14	5	0	2	21
制 動 装 置	56	19	0	13	88
緩 衝 装 置	36	9	2	2	49
燃 料 装 置	81	25	0	11	117
電 気 装 置	465	23	3	12	503
車 枠 及 び 車 体	14	3	0	1	18
連 結 装 置	0	0	0	1	1
乗 車 装 置	37	2	0	0	39
物 品 積 載 装 置	0	0	0	2	2
窓 ガ ラ ス	0	0	0	0	0
騒 音 防 止 装 置	3	1	0	1	5
ばい煙等の発散防止装置	5	7	0	1	13
灯火装置及び指示装置	6	0	0	1	7
反 射 器	0	0	0	0	0
警 音 器	4	0	0	0	4
視野を確保する装置	9	1	0	0	10
計 器	12	0	0	0	12
消 火 器	0	0	0	0	0
内圧容器及びその付属装置	55	2	0	1	58
運 行 記 録 計	0	0	0	0	0
そ の 他	71	12	1	7	91
合 計	1,491	203	8	143	1,845



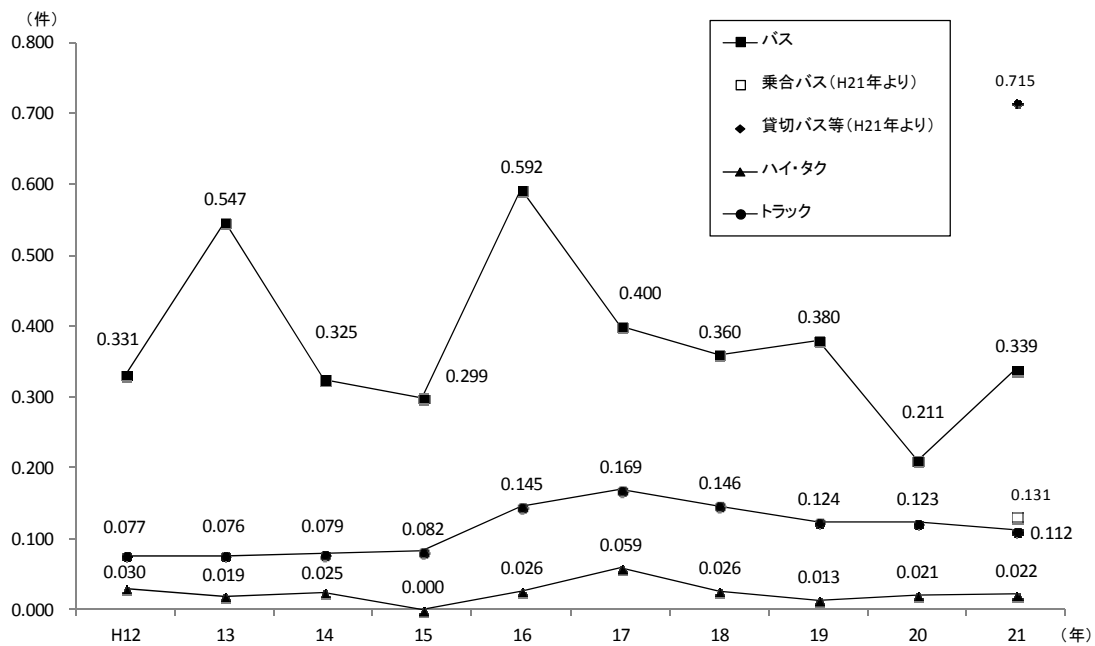
#### 4. 火災事故

平成 21 中の事故種類別の重大事故のうち、事業の種類別の火災事故発生状況の推移は、図 4-1 に示すとおりである。また、その 1 億走行キロ当たり火災事故発生状況の推移は、図 4-2 に示すとおりである。

〔図 4-1〕 事業の種類別の火災事故発生状況の推移



〔図 4-2〕 事業の種類別の事業用自動車 1 億走行キロ当たり火災事故発生件数の推移

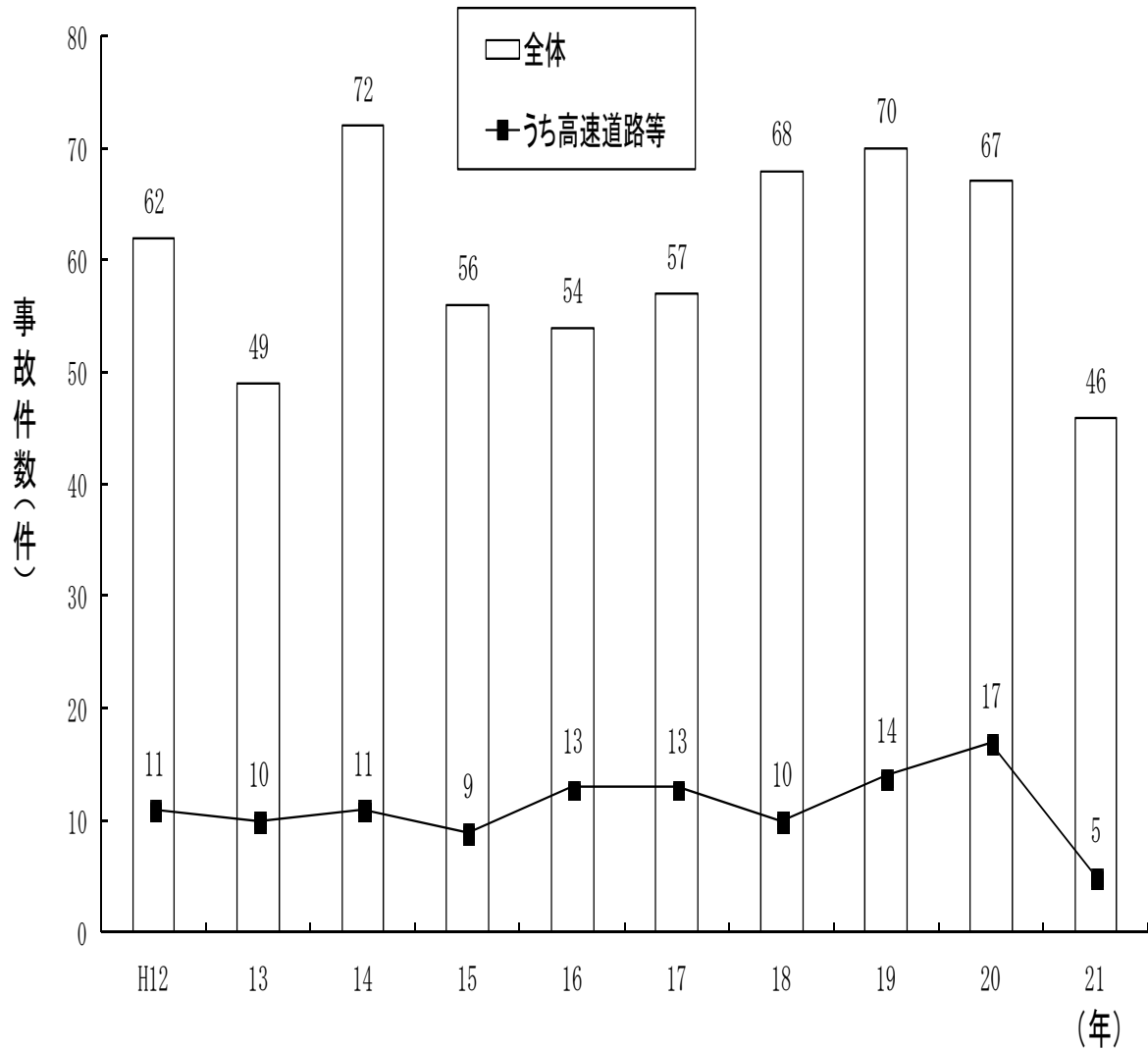


## 5. 危険物等積載車両の重大事故発生状況

### (1) 危険物等積載車両の重大事故発生状況の推移

事業用自動車の危険物等積載運搬車両の重大事故発生状況の推移は、図5-1に示すとおりである。

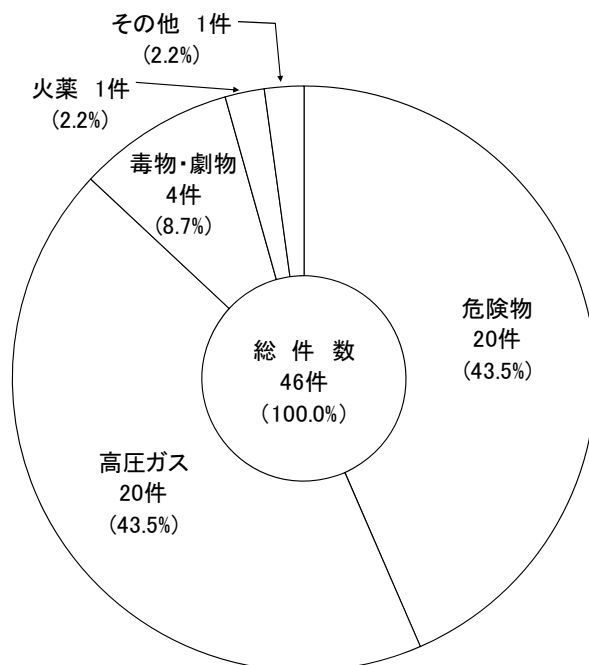
〔図5-1〕 危険物等積載運搬車両の重大事故発生状況の推移



## (2) 積載物品別の重大事故発生状況

平成 21 年中の積載危険物等別の重大事故発生状況は、図 5 - 2 に示すとおりである。

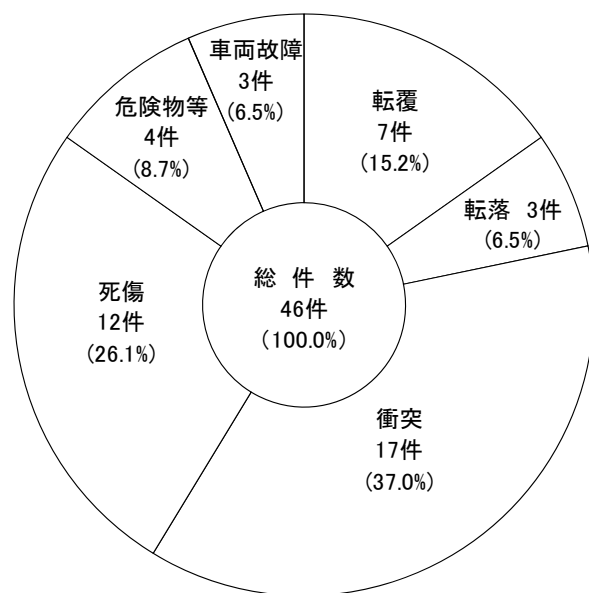
〔図 5 - 2〕 積載危険物等別の重大事故発生状況



## (3) 事故種類別の重大事故発生状況

平成 21 年中の事故種類別の重大事故発生状況は、図 5 - 3 に示すとおりである。

〔図 5 - 3〕 事故種類別の重大事故発生状況



## 6. 高速道路等における重大事故発生状況

### (1) 発生状況

平成 21 年中の高速自動車国道及び自動車専用道路等における重大事故発生状況等は、表 6-1 に示すとおりである。また、旅客自動車運送事業における事業の種類別の高速道路等において重大事故により死傷した乗客数は、表 6-2 に示すとおりである。

〔表 6-1〕 事業の種類別の高速道路等における重大事故発生状況等

事業の種類等		事故状況	事故件数 (件)	死者数 (人)	重傷者数 (人)
バ ス	乗合	高速	183(- 8)	0(- 2)	7(+ 4)
		専用	36(+ 3)	0(± 0)	2(- 2)
	貸切	高速	100(+ 1)	0(- 2)	1(- 5)
		専用	15(- 5)	0(- 2)	6(- 6)
ハイ・タク		高速	9(+ 3)	2(± 0)	4(+ 2)
		専用	5(- 2)	0(- 2)	2(- 2)
トラ ッ ク		高速	275(-14)	80(- 9)	98(+13)
		専用	84(+ 1)	28(- 2)	27(+ 5)
計		高速	567(-18)	82(-13)	110(+14)
		専用	140(- 3)	28(- 6)	37(- 5)

※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

〔表 6-2〕 旅客自動車運送事業における事業の種類別の高速道路等において

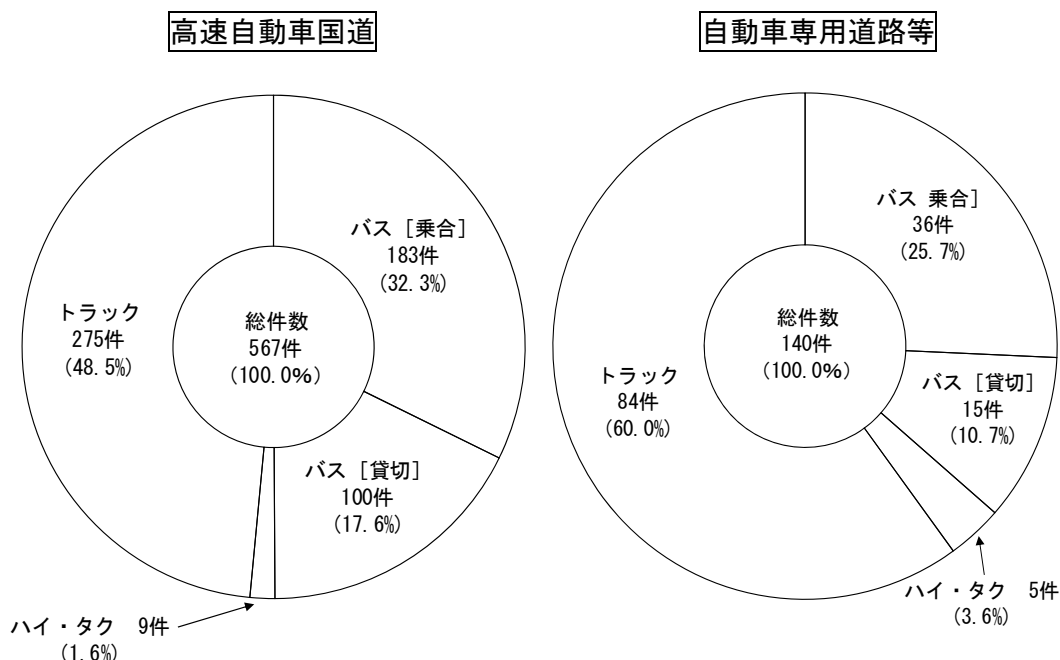
### 重大事故により死傷した乗客数

事業の種類等		事故状況	死者数 (人)	重傷者数 (人)
バ ス	乗合	高速	0	1
		専用	0	1
	貸切	高速	0	1
		専用	0	3
ハイ・タク		高速	0	0
		専用	0	0
計		高速	0	2
		専用	0	4

(2) 高速道路等における事業の種類別の重大事故発生状況

平成 21 中の高速自動車国道及び自動車専用道路等における事業の種類別、道路の種類別の重大事故件数は、図 6-1 に示すとおりである。

〔図 6-1〕 事業の種類別、道路の種類別の重大事故発生状況



(3) 事故種類別の重大事故発生状況

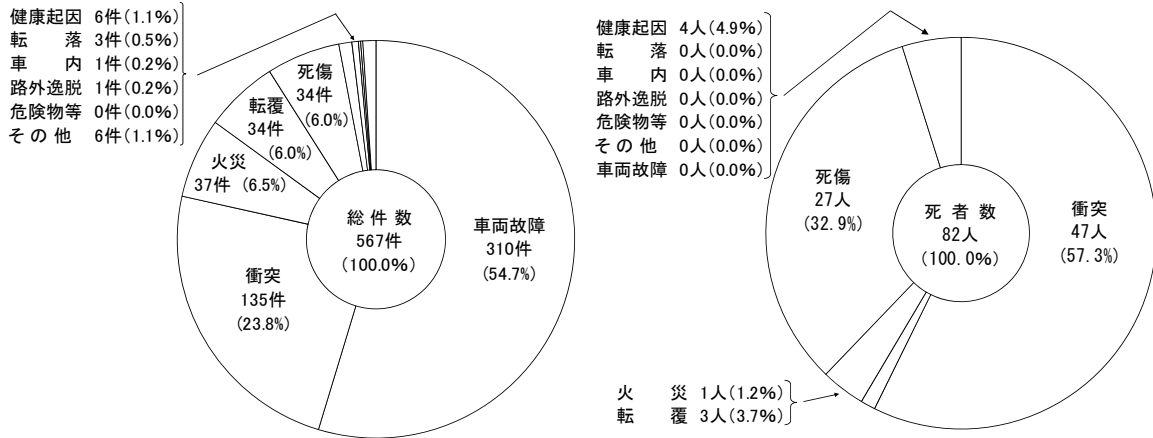
平成 21 中の高速自動車国道及び自動車専用道路等における事故種類別の重大事故発生状況等は、表 6-3 に、事故種類別、道路の種類別の重大事故発生状況等は、図 6-2 に示すとおりである。

〔表 6-3〕 事故種類別重大事故発生状況等

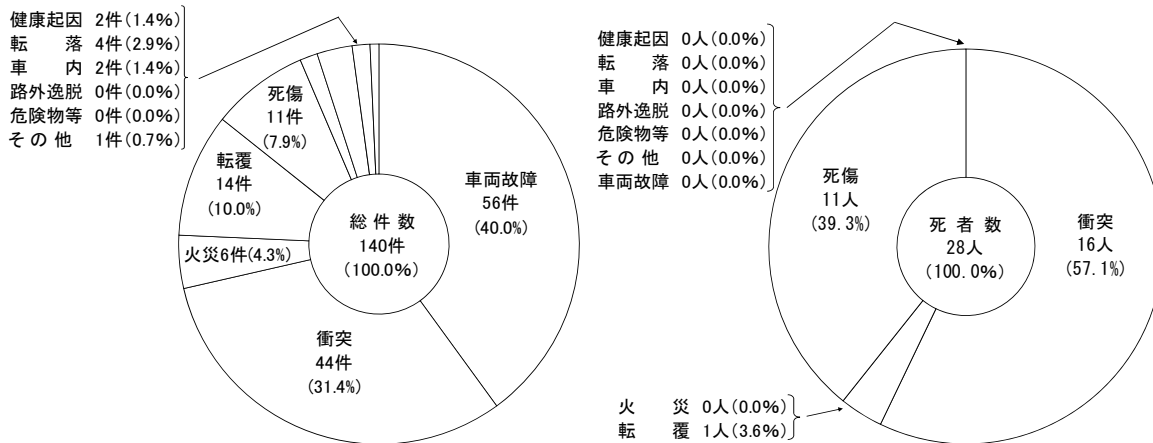
項目	高速自動車国道			自動車専用道路等		
	件数	死者数	重傷者数	件数	死者数	重傷者数
車両故障	310	0	1	56	0	0
衝突	135	47	88	44	16	28
火災	37	1	0	6	0	0
転覆	34	3	4	14	1	1
死傷	34	27	14	11	11	5
健康起因	6	4	0	2	0	1
転落	3	0	1	4	0	0
車内	1	0	0	2	0	1
路外逸脱	1	0	0	0	0	0
危険物等	0	0	0	0	0	0
その他	6	0	2	1	0	1
<b>計</b>	<b>567</b>	<b>82</b>	<b>110</b>	<b>140</b>	<b>28</b>	<b>37</b>

〔図6-2〕 事故種別別、道路の種類別の重大事故発生状況等

高速自動車国道



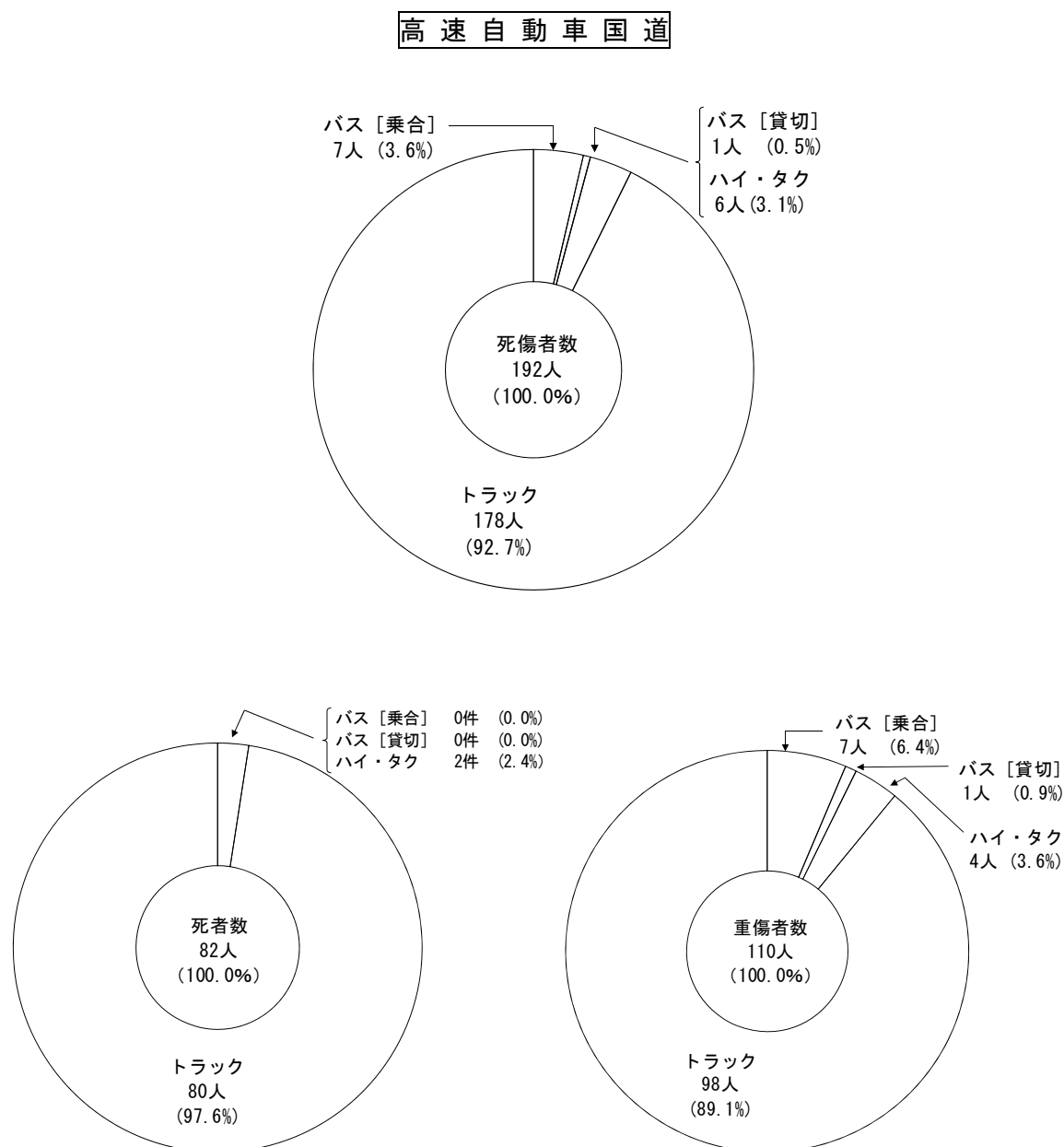
自動車専用道路等



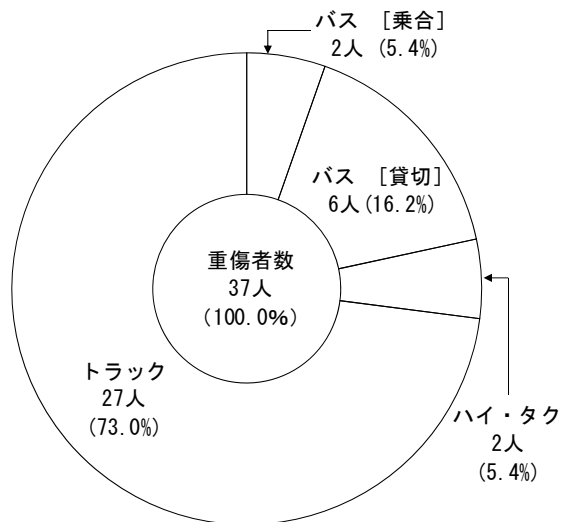
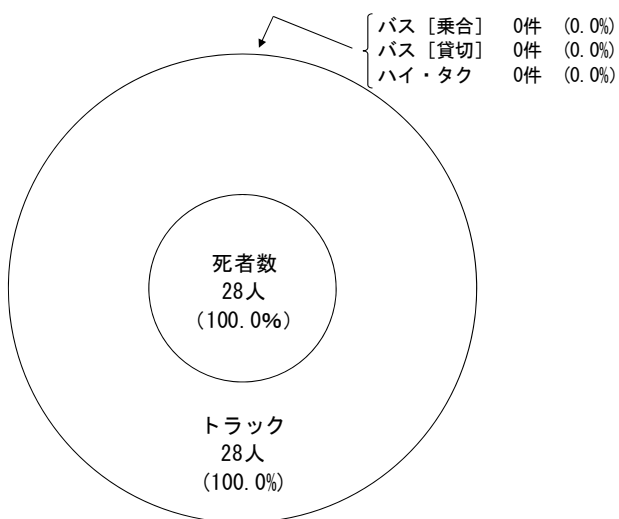
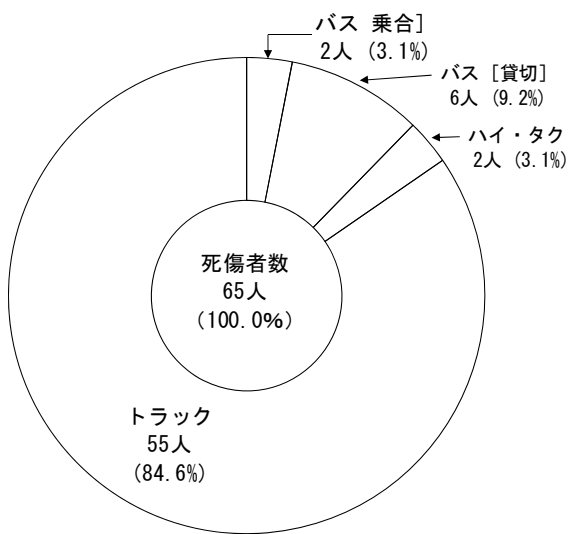
(4) 事業の種類別、道路の種類別の死傷者数

平成 21 年中の高速自動車国道及び自動車専用道路等における事業の種類別重大事故の死傷者数は、図 6-3 に示すとおりである。

〔図 6-3〕 事業の種類別、道路の種類別の死傷状況



自動車専用道路等





(5) 乗務員に起因する重大事故発生状況

(ア) 事業の種類別の重大事故発生状況

平成 21 年中の高速自動車国道及び自動車専用道路等における乗務員に起因する重大事故のうち、事業の種類別の重大事故発生状況等は、表 6-4 に示すとおりである。また、旅客自動車運送事業における事業の種類別の高速道路等において重大事故により死傷した乗客数は、表 6-5 に示すとおりである。

〔表 6-4〕 事業の種類別の重大事故発生状況等（乗務員に起因するもの）

事業の種類 項 目		バス		ハイ・タク	トラック	合計
		乗合	貸切			
重大事故件数 (件)		6(- 6)	6(- 4)	11(+ 4)	185(+ 3)	208(- 3)
死傷状況	死者数 (人)	0(± 0)	0(± 0)	2(± 0)	61(- 3)	63(- 3)
	重傷者数 (人)	5(± 0)	2(- 2)	4(- 1)	85(+13)	96(+10)
	計 (人)	5(± 0)	2(- 2)	6(- 1)	146(+10)	159(+ 7)

※ ( ) 内の数値は、対前年増減数

〔表 6-5〕 旅客自動車運送事業における事業の種類別の高速道路等において  
重大事故により死傷した乗客数（乗務員に起因するもの）

事業の種類 項 目		バス		ハイ・タク	合計
		乗合	貸切		
死傷状況	死者数 (人)	0	0	0	0
	重傷者数 (人)	2	1	0	3
	計 (人)	2	1	0	3

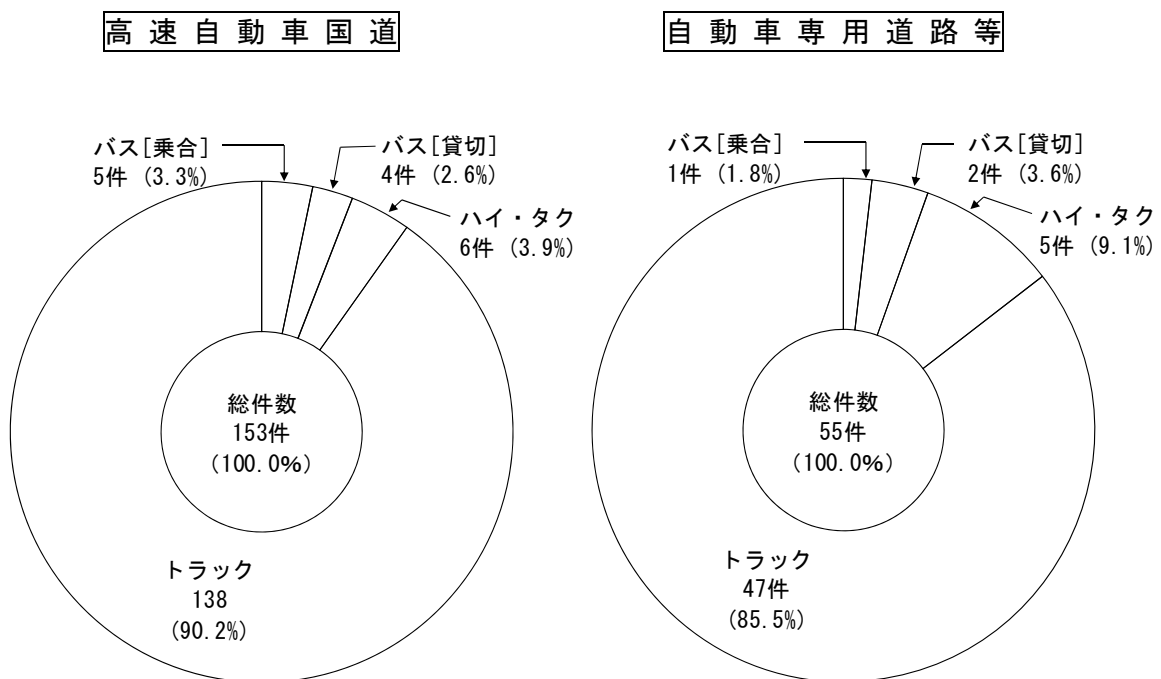
(イ) 事業の種類別、道路の種類別の重大事故発生状況

平成 21 年中の高速自動車国道及び自動車専用道路等における乗務員に起因する重大事故のうち、事業の種類別、道路の種類別の重大事故発生状況は、表 6-4、図 6-5、表 6-5、図 6-6、表 6-6、図 6-7 に示すとおりである。

〔表 6-6〕 事業の種類別、道路の種類別の重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

事業の種類		高速自動車国道	自動車専用道路等	計
バス	乗合	5	1	6
	貸切	4	2	6
ハイ・タク		6	5	11
トラック		138	47	185
計		153	55	208

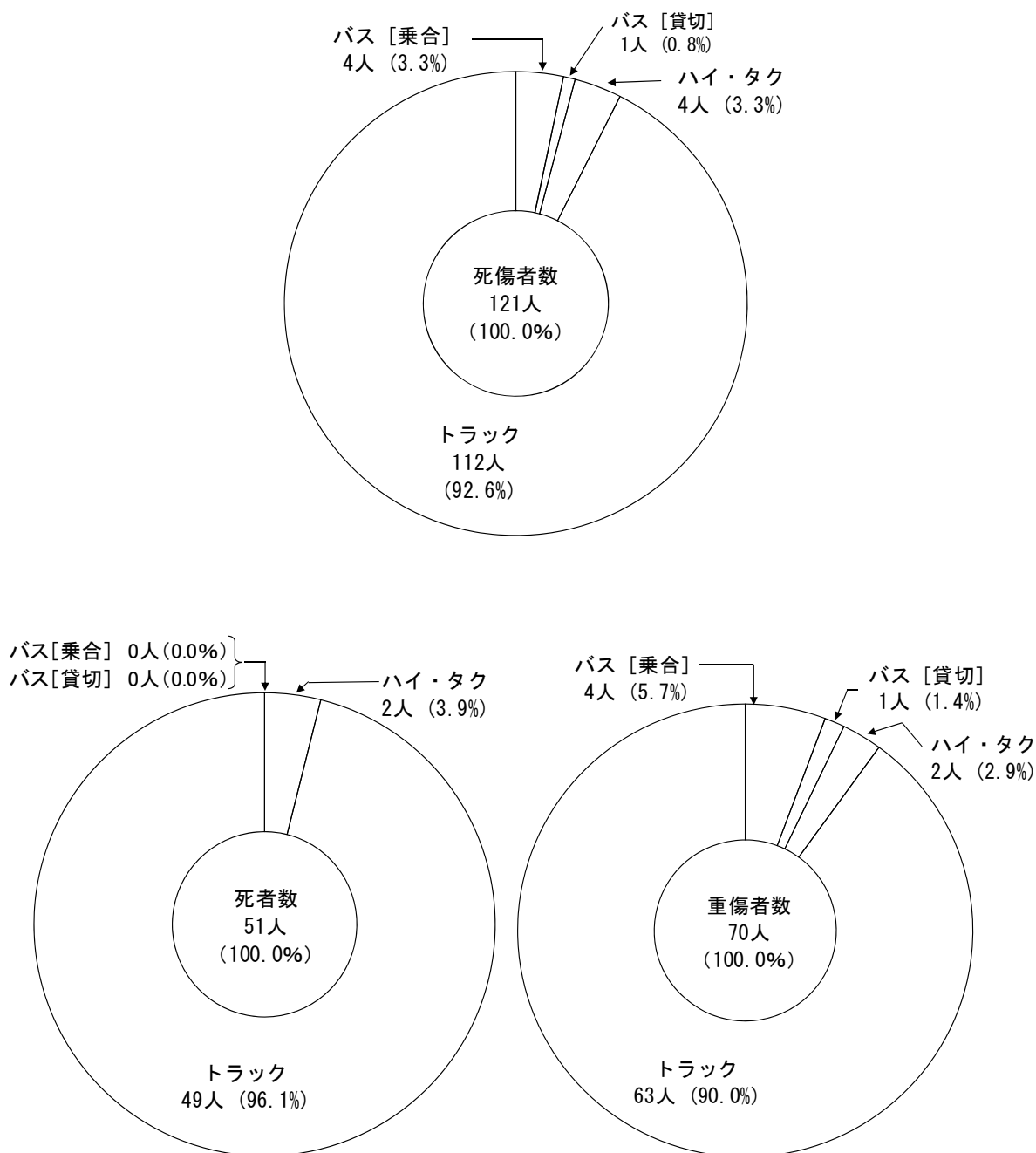
〔図 6-4〕 事業の種類別、道路の種類別の重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）



〔表6-7〕 高速自動車国道における事業の種類別の死傷者内訳（乗務員に起因するもの）

事業の種類		死者	重傷	計
バス	乗合	0	4	4
	貸切	0	1	1
ハイ・タク		2	2	4
トラック		49	63	112
計		51	70	121

〔図6-5〕 高速自動車国道における事業の種類別の死傷者内訳（乗務員に起因するもの）



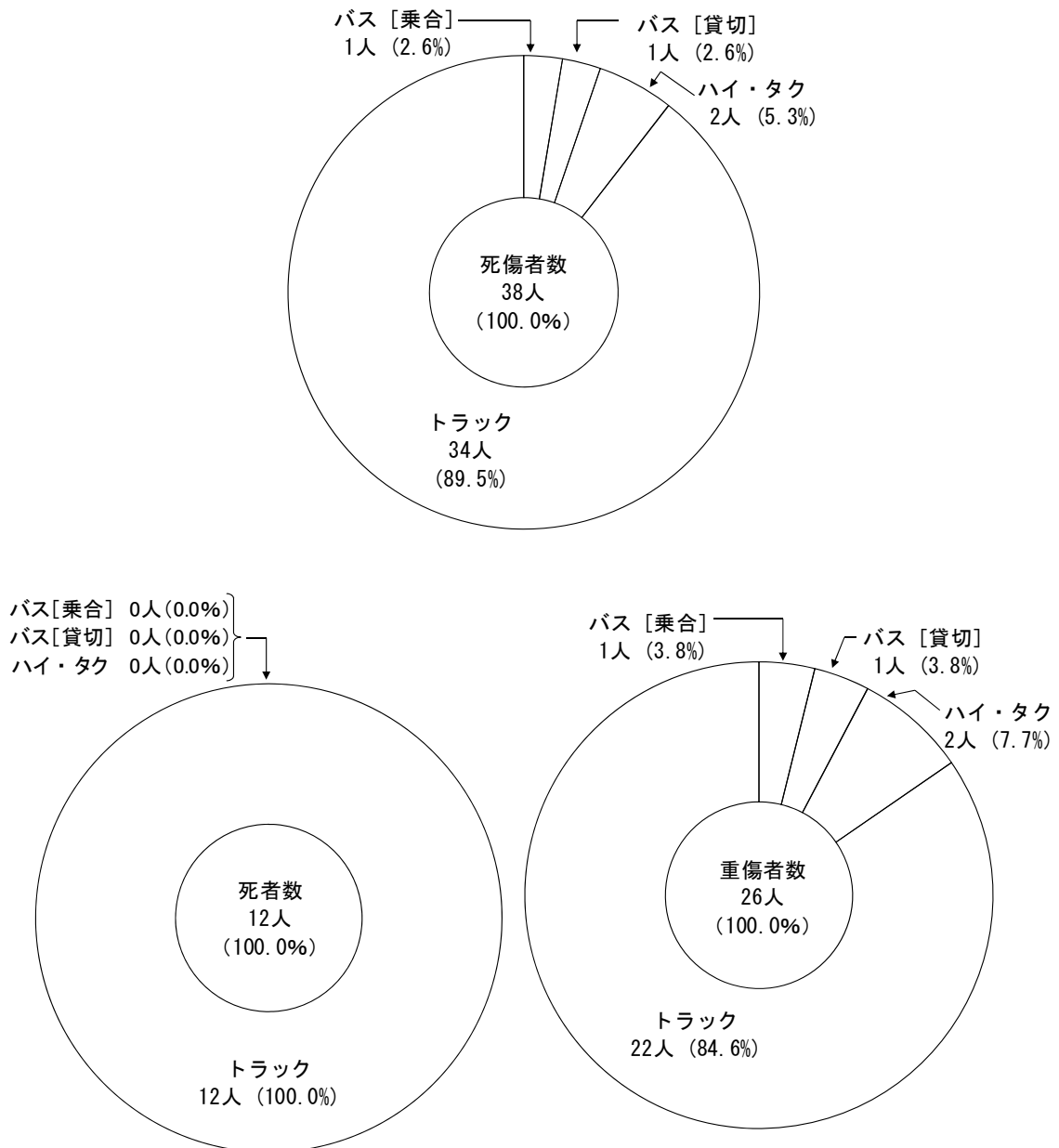
〔表6-8〕 自動車専用道路等における事業の種類別の死傷者内訳

(乗務員に起因するもの)

事業の種類		死者	重傷	計
バス	乗合	0	1	1
	貸切	0	1	1
ハイ・タク		0	2	2
トラック		12	22	34
計		12	26	38

〔図6-6〕 自動車専用道路等における事業の種類別の死傷者内訳

(乗務員に起因するもの)



(ウ) 事故種別、道路の種別の重大事故発生状況

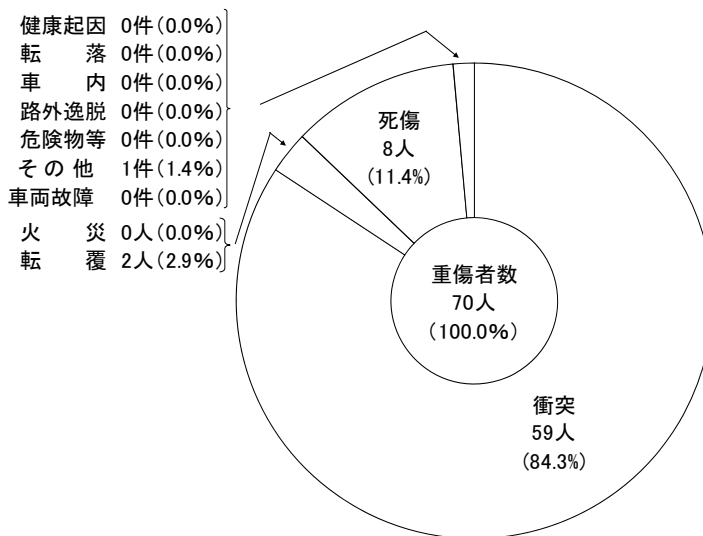
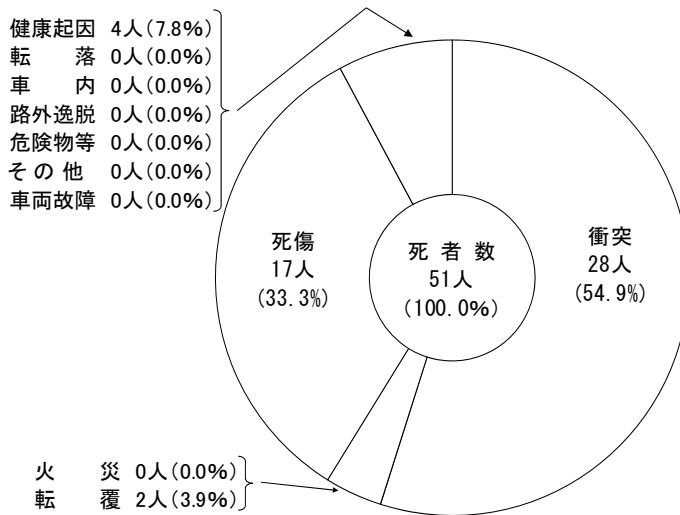
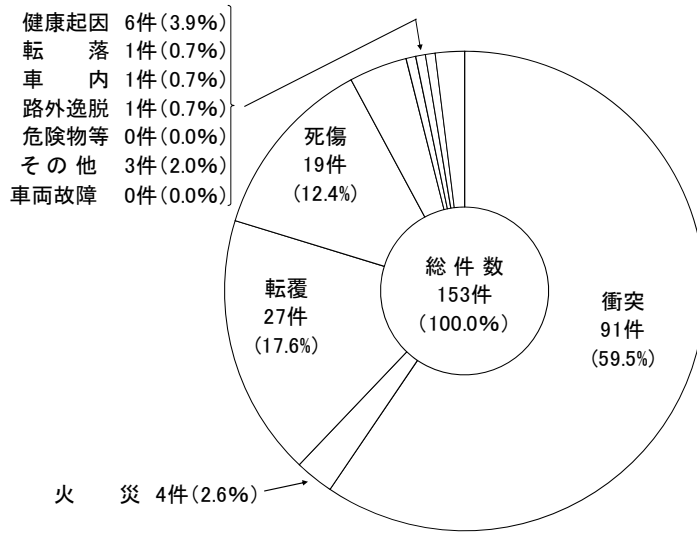
平成 21 年中の高速自動車国道及び自動車専用道路等における乗務員に起因する重大事故のうち、重大事故発生状況等を事故種別、道路の種別にみると、表 6-7、図 6-8 に示すとおりである。

[表 6-9] 事故種別、道路の種別の重大事故発生状況等（乗務員に起因するもの）

事故種類 \ 項目	高速自動車国道			自動車専用道路等		
	件数	死者数	重傷者数	件数	死者数	重傷者数
車 両 故 障	0	0	0	0	0	0
衝 突	91	28	59	24	4	17
火 災	4	0	0	1	0	0
転 覆	27	2	2	13	1	1
死 傷	19	17	8	8	7	5
健 康 起 因	6	4	0	2	0	1
転 落	1	0	0	4	0	0
車 内	1	0	0	2	0	1
路 外 逸 脱	1	0	0	0	0	0
危 険 物 等	0	0	0	0	0	0
そ の 他	3	0	1	1	0	1
計	153	51	70	55	12	26

[図6-7] 事故種別、道路の種類別の重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

高速自動車国道



自動車専用道路等

